

令和 7 年 度 事 業 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

はじめに

令和7年度は5年ぶりに薬機法が大きく改正され、一般用医薬品の濫用対策の強化及び要指導医薬品の販売方法等の見直し、認定薬局制度の見直しなどが図られるとともに、薬局開設者の責務として、「関係行政機関との連携等により、医療を受ける者に必要な薬剤及び医薬品の安定的な供給を図るとともに、当該薬局において薬剤師による情報の提供が円滑になされるよう配慮しなければならない。」ことなどが明示された。

この法改正に連動し、国では新たな予算を計上し、地域における医薬品提供体制の整備強化等を図るための取組を行った。

一方、令和8年度の診療報酬改定に向けて行われた中医協の議論の中では、物価高対策・医療従事者の賃上げ等とともに「かかりつけ薬剤師の推進」などについて議論が交わされ、これからの薬剤師・薬局のあるべき方向性が調剤報酬にも反映される形となった。

これを受け日本薬剤師会では、「患者のための薬局ビジョン」で示された姿の実現に向け、かかりつけ機能をより一層強化し、国民が質の高い薬剤師サービスを実感できるようにすることの必要性を訴えている。

そのように、我が国における薬剤師・薬局を取り巻く状況が次々と変化する中で、本会は公益社団法人として、薬剤師職能の向上並びに薬学・薬業の進歩発展を図ることを通じ、県民の健康増進、福祉、保健衛生及び地域医療の向上に寄与するという使命・役割を果たすべく、必要に応じて県行政、県医師会、県歯科医師会等との連携を図りながら令和7年度の取組を進めた。

具体的には、まず公益事業における薬学・薬業の進歩発展に関する事業として、湘南医療大学と連携して「神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学～産学連携～」を11月に開催し、「多職種連携」に係る特別シンポジウム、「災害」及び「実務実習」をテーマとする分科会を実施するとともに、薬学生にも参加していただいて口頭発表やポスター発表を行うなど、合計212名の参加者を集め、活気のある大会とすることができた。

また、児童・生徒等に関する事業では、学校環境衛生管理や薬物乱用防止啓発事業等に着実に取り組んだほか、本会が令和6年度から準備を進めてきた「第75回全国学校薬剤師大会」を幹事県として同じく11月に開催し、全国から290名の参加者を集めた。

さらに、医薬品適正使用に関する事業では、県病院薬剤師会や県栄養士会等と共催した「くすりと健康すこやかフェア」や、くすりと健康相談薬局による「県下一斉相談週間」の実施、健康測定機器の貸出し事業、さらにはYouTube動画や本会公認キャラクター「神奈薬ほう介」が参加した地域薬剤師会のイベントを通じて、医薬品適正使用の推進、セルフメディケーションの啓発等に取り組んだ。

また、本会の2大事業の一つに位置付けられているくすりと健康相談薬局の認定にあたっては、令和7年度は71薬局（新規4件、更新67件）から申請があり、薬局数は259薬局となった。

医療安全に関する事業では、本会が精力的に進めている多重受診・偽造処方箋対策として、リスクマネジャーを通じて合計 95 件の情報提供を行い、再発防止に努めた。

また、共益事業に位置付けられているリスクマネジメント事業として、薬局プレアボイド事例を収集し、優秀事例を薬壺で取り上げた。

地域医療に関する事業では、厚生労働省の委託事業として「地域医薬品提供体制構築推進事業」を実施し、日本薬剤師会が提唱した地域医薬品提供体制構築のためのアクションリストに基づく地域薬剤師会の取組を支援した他、厚生労働省通知に基づき、本会と神奈川県医師会との間で合意書を取り交わし、緊急避妊薬販売に係る連携体制を構築した。

災害時医療救護活動に関する事業では、県の災害時保健医療救護計画に新たに位置付けられた災害薬事コーディネーターを養成・配備するため、県の委託事業として災害薬事コーディネーターとなりうる薬剤師を選定するとともに養成研修を実施した。

次に、法人事業では、韓国京畿道薬師会との間で相互に訪問して学術交流を行い、両国の地域包括ケアシステムについて互いに見分を広めるとともに、本会と京畿道薬師会との友好を深めた。

また、令和 7 年 4 月からルーキーメンバー制度の運用を本格的に開始し、メンバー登録者に対して委員会体験や交流会、研修会への参加等を促して本会に対する理解を深める機会を提供した結果、令和 8 年 3 月末時点で登録者が 111 名となるとともに、ルーキーメンバー（及びその前身のトライアルメンバー）経験者のうち 6 名が正会員として本会に入会した。

次に共益事業では、本会のもう一つの 2 大事業の一つである「生涯学習認定制度」について、本会主催の研修会参加者等に対して積極的に PR 活動を展開し、新規 12 名、更新 27 名を認定した結果、認定者総数は 73 名となった。

さらに広報事業では、本会の公認キャラクター「神奈薬ほう介」を使用した各種 PR 活動や、Facebook、Instagram に加えて新たに X による県民向け情報発信などに努めた。

あわせて、本会の活動拠点である総合薬事保健センターの長寿命化を図るため、4 階フロアの空調設備を中心とした大規模修繕工事（第 2 期）を実施した。

最後に、事業計画外の取組として、令和 7 年 12 月に本会並びに県医師会、県歯科医師会、県薬剤師連盟、県医師連盟、県歯科医師連盟の 6 団体が共同で県に対して重点支援地方交付金を活用した医療分野への支援強化に関する要望活動を行い、その結果県による補正予算措置が実現した。

目 次

頁

会務報告

1 会員数	1
2 各種会議開催状況	1
3 各種委員等就任状況	6
4 会員の表彰	11
5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況	14

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	16
2 児童・生徒等に関する事業	21
3 医薬品適正使用に関する事業	25
4 医療安全に関する事業	34
5 公衆衛生に関する事業	36
6 地域医療に関する事業	38
7 災害時医療救護活動に関する事業	44

II 法人事業

1 法人組織運営に関すること	
(1) 総会、理事会等開催など	46
(2) 組織強化と財務の健全化	49
(3) 会員管理	52

III 共益事業

1 共益事業	
(1) 薬剤師の生涯学習の推進	53
(2) リスクマネジメント等事業	59
(3) 広報事業	60
(4) 会員に向けた各種支援	65

IV 収益事業

1 収益事業	66
--------	----

その他

1 地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業	67
2 緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業	67

参考資料

令和7年度公益社団法人神奈川県薬剤師会事業計画	68
令和7年度事業体系図	70
令和7年度神奈川県薬剤師会各種委員会等委員名簿	72
令和7年度神奈川県薬剤師会組織図	73

会 務 報 告

1 会員数

会員総数 3,599名 (対3/31 117名減)	第 1 種 会 員	2,150名	(対3/31 53名減)
	第 2 種 会 員	1,235名	(対3/31 53名減)
	第 3 種 会 員	31名	(対3/31 4名増)
	賛 助 会 員	175名	(対3/31 14名減)
	名誉・有功会員	8名	(対3/31 1名減)
[P13参照]			

2 各種会議開催状況

(1) 総 会 2回

[通常総会]

- ・開 催 日 令和7年6月22日(日)
- ・開 催 場 所 神奈川県総合薬事保健センター1階多目的ホール
- ・代議員総数 65名(定数)
- ・出席者数 出席者 63名 内訳 出席 55名
委任状 3名
書面表決 5名

・報告事項

理事者より以下の報告が行われた。

- ・報告第1号 令和6年度事業報告について
- ・報告第2号 日本薬剤師会第105回臨時総会について

・審議事項

理事者より以下の3議案について説明があり、監事より議案第1号について監査結果の報告が行われた。その後、事前通告質問および関連質問が行われ、各議案が採決された。

- ・議案第1号 令和6年度決算について
賛成多数により原案どおり可決された。
- ・議案第2号 公益社団法人神奈川県薬剤師会 会員規程の改正について
賛成多数により原案どおり可決された。
- ・議案第3号 役員選挙管理委員会委員の指名について
賛成多数により原案どおり可決された。

次の議案について、理事者から説明を行った。

- ・議案第4号 理事の選任について

理事の定数は定款第26条第1項により15名以上25名以内と定められているところ、10名のエリア推薦理事候補者および15名の一般理事候補者の届出があり、合計25名で理事定数以内であったため、総会の議決を経て、投票を行わずにその候

補者をもって当選者とすることが諮られ、挙手多数により決議され全候補者が理事として選任された。

〔エリア推薦理事名簿：エリア順〕

1	関水 康成	横浜北部
2	石井 泰彦	横浜西部
3	中里 裕之	横浜南部
4	福嶋 仁	川 崎
5	大岡 元	相 模 原
6	岩井 俊秀	横須賀・三浦
7	村上 和宣	湘南東
8	亀山 俊	湘南西
9	小林 弘忠	県 央
10	夏目 善文	県 西

〔一般理事名簿：届出順〕

1	長津 雅則	9	藤本 直樹
2	橋本 真也	10	堀川 壽代
3	坂本 悟	11	八鍬 広幸
4	久保田充明	12	加藤 真介
5	定村 洋士	13	大島 崇弘
6	河野 一規	14	佐藤 克哉
7	平井 和友	15	竹内 尚子
8	伊藤 啓		

・議案第5号監事の選任について

監事の定数は2名以内と定められているところ、2名が立候補しており、定数以内であるため、総会の議決を経て、投票を行わずにその候補者をもって当選者となることが諮られ、挙手多数により決議され、次の候補者が監事として選任された。

〔監事名簿：届出順〕

1	山本 長史
2	嶋 元

〔臨時総会〕

- ・開 催 日 令和8年3月8日（日）
- ・開催場所 神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール
- ・代議員定数 59 名
- ・出席者数 59 名 内訳 出 席 57 名
書面表決 2 名
- ・報告事項

次の報告事項について、理事者から説明があった。

- ・報告第1号 外部理事・外部監事の選任方法について
- ・報告第2号 役員等選挙の見直しについて
- ・報告第3号 公益社団法人神奈川県薬剤師会同好会の設置について
- ・審議事項

次の各議案について理事者からの説明後、事前通告質問および関連質問が行われ、その後議長より採決が行われた。

- ・議案第1号 令和8年度事業計画について
賛成多数により原案どおり可決された。
- ・議案第2号 令和8年度収支予算について
賛成多数により原案どおり可決された。
- ・議案第3号 令和8年度借入金最高限度額について
賛成多数により原案どおり可決された。
- ・議案第4号 名誉会員の承認について
賛成多数により原案どおり可決された。
- ・議案第5号 代議員選挙管理委員会委員の指名について
賛成多数により原案どおり可決された。

(2) 理事会

7回 (5/22、6/22、7/3、9/18、11/6、12/18、1/22)

(3) 常務理事会

24回 (4/3、4/17、5/8、5/22、6/5、6/19、7/3、7/17、8/7、8/28、9/4、9/18、10/9、10/23、11/6、11/19、12/4、12/18、1/8、1/22、2/5、2/19、3/5、3/19)

(4) 監査会

2回 (5/14、11/12)

(5) 地域・職域薬剤師会 会長協議会

4回

開催日	講演内容等
第1回 (4/24)	協議テーマ：「各地域薬剤師会の事務執行について」 座長：平井和友氏（神奈川県薬剤師会専務理事）
第2回 (7/17)	演題：「薬機法改正・地域医薬品提供体制の強化に向けて～薬局機能・薬剤師業務のあり方～」 講演者：長津雅則氏（神奈川県薬剤師会会長）
第3回 (11/27)	講演テーマ：「地域薬剤師会の取り組み」 講演1：行政および他団体との取り組み 演 者：神原大輔氏（公益社団法人相模原市薬剤師会副会長） 講演2：藤沢市事業と協働した健康増進施策の取組について 演 者：村上和宣氏（一般社団法人藤沢市薬剤師会会長）
第4回 (2/12)	講演テーマ：「地域薬剤師会の取り組み」 講演1：横浜市薬剤師会と横浜市との連携 「信頼と実績で横浜市の行政課題に対応」 演 者：坂本悟氏（一般社団法人横浜市薬剤師会会長） 講演2：小田原薬剤師会の取組み ー認知症をにんちしょう会ー 演 者：渡邊千括氏（公益社団法人小田原薬剤師会会長）

(6) 委員会

- | | |
|----------------------------|---|
| ① 組織会員委員会 | 4 回 (5/16・7/25・11/7・2/27) |
| ・交流会打ち合わせ会 | 2 回 (6/13web・1/13web) |
| ・同好会設立に向けての小委員会 | 1 回 (9/5web) |
| ② 広報委員会 | 4 回 (6/5web 併用・8/28・10/27・
2/10web) |
| ・HP 打ち合わせ会 | 1 回 (12/4web) |
| ③ 薬壺編集委員会 | 6 回 (5/28web 併用・7/23 web 併用・
9/24 web・11/26web 併用・1/28web、
3/25web 併用) |
| ・デジタル化検討会議 | 1 回 (3/17web) |
| ④ 生涯学習委員会 | 4 回 (5/29web・8/21・10/24web・
1/28web) |
| ・研修企画・運営小委員会 | 3 回 (5/26web・10/14web・11/25web) |
| ・認定薬剤師認定小委員会
(審査会：同日開催) | 12回 (4/16web・5/14web・6/11web・
7/9web・8/16web・9/11・10/9web・
11/13web・12/17web・1/15web・
2/20web・3/23web) |
| ・外部評価小委員会 | 1 回 (6/13) |
| ⑤ 医療・介護保険委員会 | 4 回 (6/5・8/28・11/13・2/26) |
| ⑥ 公衆衛生・学薬委員会 | 5 回 (4/10web・7/31・10/9web 併用・
12/11web 併用・3/12web) |
| ・小委員会 | 1 回 (3/2web) |
| ⑦ 地域保健委員会 | 5 回 (5/30web 併用・8/22web 併用・
10/29web 併用・12/ 1 web 併用・
3/10web 併用) |
| ⑧ リスクマネジメント委員会 | 4 回 (5/23web 併用・7/23web 併用・
9/4・2/6web 併用) |
| ・リスク対策小委員会 | 1 回 (12/22web) |
| ・薬局プレアボイド小委員会 | 1 回 (1/26web) |
| ・リスクマネジメント小委員長会 | 2 回 (8/19web・12/4web) |
| ・調剤事故検討会 | 1 回 (2/6web 併用) |
| ⑨ 倫理研修委員会 | 4 回 (4/16web・8/24・10/28web・
2/20web) |
| ⑩ 学術大会実行委員会 | 5 回 (4/15web・5/15web・7/29web 併用・
10/3web・12/22web) |
| ⑪ 実務実習委員会 | 4 回 (6/4・9/3・12/17・3/23) |
| ・アドバンスワークショップ検討会 | 0 回 |
| ⑫ 災害対策検討委員会 | 4 回 (8/20・10/20web 併用・12/15web 併
用・2/4web 併用) |
| ⑬ 総会議事運営委員会 | 2 回 (4/17、12/4) |
| ⑭ 代議員選挙管理委員会 (書類審査含む) | 2 回 (5/15web、8/7) |

- ⑮ 役員選挙管理委員会（書類審査含む） 2回（6/9・2/17）
- ⑯ くすりと健康相談薬局制度運営協議会 4回（4/3web 併用・8/7・10/9・2/5）
- ⑰ くすりと健康すこやかフェア実行委員会 2回（7/14web・9/11web 併用）

（7）その他会議

- ① 正副会長会 15回（4/3・5/8・6/5・6/19・6/26・7/3・8/7・9/4・10/9・11/6・11/19・12/18・1/8・2/5・3/19）
- ② 倫理審査会（迅速審査含む） 5回（8/10、7/9、2/3、2/17、3/2）
- ③ 各種委員会委員長会議 2回（10/23、2/19）
- ④ 神奈川県薬剤師会会長賞等選考審査会 1回（11/19）
- ⑤ 神奈川県薬業団体新年賀詞交換会 1回（1/9）

3 各種委員等就任状況

《行政関係》

(令和8年3月31日現在)

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川県分会	佐藤副会長	臨時委員	関東信越厚生局
2	神奈川県薬事審議会	長津会長	副会長	薬務課
3	神奈川県薬事審議会薬物評価検討部会	長津会長	会長	薬務課
4	神奈川県献血推進協議会	八鍬理事	委員	薬務課
5	神奈川県薬物乱用対策推進本部会	長津会長	本部員	薬務課
6	神奈川県薬物乱用対策推進本部啓発・青少年対策部会	大島副会長	部会員	薬務課
7	神奈川県後発医薬品使用促進協議会	石井理事	委員	薬務課
8	神奈川県薬剤師確保検討会議	久保田副会長	委員	薬務課
9	薬物クリーンかながわ推進会議	長津会長	会長	薬務課
10	薬物クリーンかながわ推進会議運営委員会	大島副会長	役員	薬務課
11	薬物クリーンかながわ推進会議広報委員会	藤本常務理事	委員	薬務課
12	神奈川県医療審議会	長津会長	委員	医療課
13	神奈川県保健医療計画推進会議	大島副会長	委員	医療課
14	神奈川県保健医療計画推進会議糖尿病医療連携検討部会	中里理事	委員	医療課
15	神奈川県医療安全推進協議会	佐藤副会長	委員	医療課
16	神奈川県医療安全対策事業実行委員会	石井理事	委員	医療課
17	神奈川県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	河野理事	委員	医療課
18	神奈川県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	小林弘忠	委員	医療課
19	神奈川県外国人医療推進検討会議	伊藤理事	委員	医療課

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係部署
20	神奈川県災害医療対策会議	橋本副会長	委員	医療危機対策本部室
21	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（医療救護体制部会）	橋本副会長	構成員	医療危機対策本部室
22	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（ロジスティック部会）	小林弘忠	構成員	医療危機対策本部室
23	神奈川県エイズ対策推進協議会	八鍬理事	運営委員	医療危機対策本部室
24	神奈川県感染症対策協議会	橋本副会長	会長招集者	医療危機対策本部室
25	神奈川県医療費検討委員会	佐藤副会長	委員	医療保険課
26	神奈川県国民健康保険運営協議会	佐藤副会長	委員	医療保険課
27	かながわ健康プラン21推進会議及びがん克服県民会議	堀川常務理事	委員	健康増進課
28	医食農同源研究会 〈漢方理解促進等検討部会委員兼務〉	坂本理事	委員	健康増進課
29	神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会	伊藤理事	委員	健康増進課
30	神奈川県公衆衛生協会	長津会長	理事	健康増進課
31	神奈川県慢性腎臓病〈CKD〉対策連絡協議会	竹内常務理事	委員	がん・疾病対策課
32	神奈川県慢性腎臓病〈CKD〉診療連携構築協議会 （R7年9月1日廃止）	竹内常務理事	委員	がん・疾病対策課
33	神奈川県在宅医療推進協議会及び神奈川県地域包括ケア会議	中里理事	委員	高齢福祉課
34	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	大島副会長	委員	高齢福祉課
35	神奈川県認知症施策推進協議会	中里理事	委員	高齢福祉課
36	神奈川県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育推進協議会	藤本常務理事	委員	保健体育課
37	神奈川県学校給食特別優良学校現地審査会	関水理事	委員	保健体育課
38	学校給食表彰審査会	関水理事	委員	保健体育課
39	学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に係る選考委員会	長津会長	委員	保健体育課
40	学校保健功労者等表彰候補者選考委員会	長津会長	委員	保健体育課

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係部署
41	令和9年度全国高等学校総合体育大会神奈川県実行委員会	大島副会長	参与	保健体育課
42	令和7年度全国学校保健・安全研究大会神奈川県実行委員会 (神奈川県実行委員会)	長津会長 小林弘忠	委員 監事	保健体育課
43	神奈川県自然環境保全審議会温泉部会	夏日常務理事	委員	生活衛生課
44	かながわ医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤理事	委員	国際課
45	脱炭素社会実現に向けた普及啓発プロジェクト会議	平井専務理事	本会役職	脱炭素戦略 本部室
46	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	長津会長	委員	青少年課

《その他》

(令和8年3月31日現在)

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
1	(公社)日本薬剤師会	長津会長	常務理事	日本薬剤師会
2	(公社)日本薬剤師会 法制委員会	関水理事	委員	日本薬剤師会
3	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	佐村優	委員	日本薬剤師会
4	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	堀川常務理事	委員	日本薬剤師会
5	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方検討会	八木多佳子	委員	日本薬剤師会
6	(公社)日本薬剤師会 調剤業務・医療安全委員会	小林弘忠	委員	日本薬剤師会
7	(公社)日本薬剤師会 薬事衛生委員会	小出彰宏	委員	日本薬剤師会
8	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	川口健次 田中治己	幹事	日本薬剤師会
9	(公社)薬剤師認定制度認証機構	長津会長 久保田副会長	社員	薬剤師認定 制度認証機 構
10	認定薬剤師認証研修機関協議会 (CAPEP)	長津会長 久保田副会長	会員	認定薬剤師 認証研修機 関協議会
11	神奈川県薬剤師研修協議会	久保田副会長 夏日常務理事 福嶋常務理事 大岡理事 亀山理事 河野理事	会長 委員 委員 委員 委員 委員	日本薬剤師 研修センタ ー運営協議 会

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
12	(一社) 薬学教育協議会 病院薬局実務実習関東地区調整機構薬局小委員会	久保田副会長	委員	薬学教育協議会関東地区調整機構
13	神奈川県学校保健連合会	長津会長 大島副会長 藤本常務理事 八鍬理事	副会長 理事 評議員 評議員	県学校保健連合会
14	神奈川県学校保健連合会学校薬剤師部会	長津会長	部会長	県学校保健連合会
15	神奈川県学校保健連合会健康手帳改訂委員会	八鍬理事	委員	県学校保健連合会
16	神奈川県立学校保健会	関水理事	理事	県立学校保健会
17	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部審査運営協議会	佐藤副会長	幹事会参与	診療報酬支払基金
18	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部診療報酬請求書審査委員会	佐藤副会長 河野理事 亀山理事	審査委員	診療報酬支払基金
19	神奈川県保険者協議会	佐藤副会長	委員	国保連合会
20	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会	大島副会長 夏日常務理事 福嶋常務理事 藤本常務理事 渡邊美智留 瀧本淳	審査委員	国保連合会
21	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	藤本常務理事	副会長	県医師会
22	神奈川県医師会災害救助対策委員会	福嶋常務理事	委員	県医師会
23	神奈川県糖尿病対策連絡会	中里理事	本会役職	県医師会
24	在宅医療トレーニングセンター研修事業運営協議会	福嶋常務理事	本会役職	県医師会
25	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	嶋監事 寺師三千彦	幹事	県医師会
26	神奈川県医療事故調査等支援団体連絡協議会	石井理事	本会役職	県医師会
27	神奈川県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	石井理事	委員	県歯科医師会
28	糖尿病医科歯科連携協議会	中里理事	委員	県歯科医師会

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
29	(公財) かながわ健康財団評議員会	長津会長	評議員	かながわ健康財団
30	(公財) かながわ健康財団がん対策推進会議	伊藤理事	委員	かながわ健康財団
31	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	平井専務理事	委員	かながわ健康財団
32	がん克服シンポジウム実行委員会	伊藤理事	委員	かながわ健康財団
33	神奈川県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	村上理事	本会役職	県社会福祉協議会
34	神奈川県立こども医療センター地域医療支援事業運営委員会	中里理事	委員	県立こども医療センター
35	神奈川県がん診療連携協議会地域連携クリティカルパス部会	伊藤理事	本会役職	県立がんセンター
36	神奈川県立保健福祉大学を支援する会	岩井理事	理事	県立保健福祉大学
37	神奈川県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	堀川常務理事	委員	横浜市大付属病院
38	(一財) 北里環境科学センター評議員会	佐藤副会長	評議員	北里環境科学センター
39	北方領土返還要求運動神奈川県民会議	平井専務理事	本会役職	北方領土返還要求運動 神奈川県民会議
40	神奈川県交通安全対策協議会総会	平井専務理事	本会役職	神奈川県交通安全対策協議会総会
41	神奈川県被害者支援連絡協議会	平井専務理事	本会役職	神奈川県警察本部
42	テロ・災害対策神奈川協力会	平井専務理事	本会役職	神奈川県警察本部
43	地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会	橋本副会長 小林弘忠	委員	-

4 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

① 神奈川県薬剤師会

ア 会長賞（個人）(2/13)

森井 広樹 木村 久美子 今井 和成

イ 会長賞（団体）(2/13)

学校法人湘南ふれあい学園 湘南医療大学

ウ 有功賞（2/13）

石井 正子	加藤 秀子	菊地 美和子	熊野 敏子	小藤 了
斉藤 弘子	斉藤 担	神保 典子	辻 繁也	所 敬子
中田 悦子	中塚 雅子	中西 民子	八木 明	

計14名

② 日本薬剤師会

ア 会賞（10/12）

鵜飼 典男

イ 学校薬剤師賞（11/20）

小川 護

ウ 有功賞（4/1）

内橋 好美	小畑 幸子	鈴木 耕三	鈴木 敏雄	俵 千枝
堤 淳子	徳里 政助	中野 信利	野村 文子	平山 クニ
間宮 多賀子	山田 高照	蓬畑 喜代子	渡辺 肇子	

計14名

(2) 叙勲・大臣表彰

① 叙勲

ア 瑞宝双光章〔春〕

石川 將一 小林 由紀子

イ 旭日双光章〔秋〕

嶋 元

② 厚生労働大臣表彰

ア 薬事功劳（10/20）

泉 紀久恵

イ 公衆衛生事業功劳（2/24）

塚本 久美

③ 文部科学大臣表彰

学校保健及び学校安全表彰（11/20）

臼井 得雄

(3) 神奈川県知事表彰

保健衛生

医療関係功労者(11/19)

亀山 俊

(4) その他各種表彰

① 神奈川県公衆衛生協会長表彰 (11/14)

八鍬 広幸

② 日本公衆衛生協会長表彰 (2/24)

大島 崇弘

③ 学校保健功労者等表彰 (2/1)

中村 正樹 新田 淳史 野崎 喜代美 中村 朋子

会 員 の 動 向

<業 種 別 会 員 数>

(R8. 3. 31現在)

区分	薬 局				店 舗 販 売 業				その他(行政、病院、無職他)					合 計					
	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
R4年度	2,282	954	175	3,411	30	13	6	49	1	406	39	31	477	2,313	1,373	39	212	11	3,948
R5年度	2,230	908	167	3,305	26	13	5	44	1	440	29	30	500	2,257	1,361	29	202	11	3,860
R6年度	2,179	856	158	3,193	23	10	3	36	1	422	27	28	478	2,203	1,288	27	189	9	3,716
R7年度	2,129	838	147	3,114	20	11	2	33	1	386	31	26	444	2,150	1,235	31	175	8	3,599

[会員種別]

- I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師
 II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師
 III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師
 賛 助 : 非薬剤師の薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者、薬品の製造業及び卸売業・医薬品販売業等の関係者、
 本会の目的及び事業に賛同する個人及び企業・団体
 神奈川県以外に在住する薬剤師

<入 会 者 ・ 退 会 者 数>

区分	入 会 者						退 会 者						差 引					
	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
R4年度	243	86	0	12	1	342	288	128	10	29	0	455	▲ 45	▲ 42	▲ 10	▲ 17	1	▲ 113
R5年度	232	102	0	9	0	343	277	124	11	19	0	431	▲ 45	▲ 22	▲ 11	▲ 10	0	▲ 88
R6年度	253	70	0	7	0	330	295	150	6	21	2	474	▲ 42	▲ 80	▲ 6	▲ 14	▲ 2	▲ 144
R7年度	213	98	0	4	0	315	255	154	6	15	2	432	▲ 42	▲ 56	▲ 6	▲ 11	▲ 2	▲ 117

●県内店舗数と会員店舗数比較

業 種	R7.3月	R8.3月			R7.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率		会員店舗数	加入率
薬 局	4,267	2,170	50.9%		2,220	52.0%
店舗販売業	1,588	24	1.5%		26	1.6%
卸売販売業	541	72	13.3%		73	13.5%
薬種商販売業	0	0	0.0%		0	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%		0	0.0%
配置販売業	131	0	0.0%		0	0.0%
計	6,527	2,266	34.7%		2,319	35.5%

※県内店舗数は、神奈川県薬務課発行『業務行政の概要』による。

●県内薬剤師数と会員数比較 (※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数)

業 種	R6.12月	R8.3月		R7.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	会員薬剤師数	加入率
薬 局	16,697	2,970	17.8%	3,037	18.2%
病院・診療所	3,929	66	1.7%	63	1.6%
介護保険老人施設	127	7	5.5%	6	4.7%
大 学	164	43	26.2%	66	40.2%
医薬品販売業	1,596	103	6.5%	106	6.6%
行 政	408	28	6.9%	33	8.1%
その他業務	422	32	7.6%	31	7.3%
無職・不詳	869	175	20.1%	185	21.3%
計	24,212	3,424	14.1%	3,527	14.6%

※県内薬剤師数は、厚労省 医師・歯科医師・薬剤師統計による。

5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 薬局実務実習担当者全国会議【web 会議】	4 月 18 日	久保田常務理事
日薬 R7地域医薬品提供体制強化に向けた全国説明会	5 月 12 日	佐藤常務理事
日薬 令和 7 年度第 1 回関東ブロック会長会議〈茨城〉	5 月 18 日	小川会長 長津副会長 平井専務理事
日薬 令和 7 年度第 1 回日薬関東ブロック協議会〈茨城〉	5 月 18 日	小川会長 長津副会長 平井専務理事 佐藤常務理事 久保田常務理事
日薬 緊急避妊薬販売に係る環境整備のためのモデル的調査研究に関する説明会	5 月 27 日	大島常務理事
日薬 第 1 回都道府県会長協議会（会長会）	5 月 28 日	小川会長
薬剤師認定制度認証機構定時社員総会	6 月 16 日	小川会長
第34回認定薬剤師認証研修機関協議会	6 月 16 日	小川会長 久保田常務理事
日薬 第106回定時総会	6 月 28・29 日	小川前会長 佐藤副会長 久保田副会長
日本薬剤師会賞等選考委員会	7 月 15 日	佐藤副会長
日薬 都道府県会長協議会（第 2 回）	7 月 24 日	橋本副会長
日薬「地域薬学ケア専門薬剤師制度」における連携研修マッチングに係る全国説明会【web 会議】	7 月 25 日	橋本副会長
日薬 第 2 回地域医薬品提供体制強化に向けた全国説明会【web 会議】	8 月 1 日	佐藤副会長
日薬 生涯学習担当者全国会議	9 月 5 日	福岡常務理事
第 1 回全国薬剤師研修協議会実務担当者会議（日本薬剤師研修協議会）	9 月 19 日	福岡常務理事
日薬 関東・東京ブロック会議〈茨城〉	9 月 28 日	佐藤副会長 久保田副会長 平井専務理事 福岡常務理事

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日 薬 都道府県会長協議会（第3回）	10月11日	大島副会長
第58回日本薬剤師会学術大会（京都大会）	10月12・13日	長津会長 平井専務理事
（一社）薬学教育協議会 病院薬局実務実習関東地区調整機構薬局小委員会	10月29日	久保田副会長
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会〈新潟〉	12月14日	佐藤副会長 福嶋常務理事 藤本常務理事
日 薬 都道府県会長協議会（第4回）	令和8年1月14日	久保田副会長
日 薬 令和7年度第2回関東ブロック会長会議〈千葉〉	令和8年2月1日	長津会長 佐藤副会長 平井専務理事
日 薬 令和7年度第2回関東ブロック協議会〈千葉〉	令和8年2月1日	長津会長 橋本副会長 佐藤副会長 久保田副会長 平井専務理事
第35回認定薬剤師認証研修機関協議会	令和8年2月1日	夏日常務理事
（一社）薬学教育協議会 病院薬局実務実習関東地区調整機構薬局小委員会	令和8年2月2日	久保田副会長
日 薬 令和7年度学校薬剤師東京・関東ブロック連絡会議	令和8年2月15日	藤本常務理事 八鍬理事 関水理事
日 薬 令和8年度調剤報酬改定等説明会	令和8年3月5日	河野理事 今井委員長
日 薬 第107回臨時総会	令和8年3月28・29日	小川前会長 橋本副会長 佐藤副会長 久保田副会長

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) 神奈川県薬剤師会学術フォーラムの開催

神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学 ～産学連携～ を湘南医療大学学園祭と同時開催した。

[神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学]

日時：令和7年11月2日（日）9：30～16：00

会場：湘南医療大学薬学部棟

主催：神奈川県薬剤師会

共催：湘南医療大学

後援：神奈川県、横浜市

参加者：212名

内容：

○特別シンポジウム：

・テーマ：地域での生活を支える多職種連携－薬剤師に期待されること－

講演1：地域での生活を支える訪問薬剤師と訪問看護の連携

講師 小林紀明氏（湘南医療大学保健医療学部看護学科）

講演2：訪問リハビリテーション専門職と薬剤師との連携

講師 西野由希子氏（湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科）

講演3：地域での生活を支える多職種連携－薬剤師に期待されること－

講師 神山綾香氏（ひかり薬局薬剤師）

講演4：現場の生活に一番近いところで気付く薬のこと

講師 柴原あゆみ氏（ホームケアクリニック横浜港南ケアマネジャー）

○分科会Ⅰ（テーマ：災害）

・内容：地域から世界へ 災害医療に関わる薬剤師の役割と使命

講演1：赤十字救護班の有事・平時の活動

講師 一林貞介氏（横浜市立みなと赤十字病院薬剤部・日赤救護班）

講演2：災害医療への薬剤師の貢献と今後の展望

講師 日向彰氏（神奈川県薬剤師会災害対策検討委員会委員長）

講演3：薬学部における災害医療教育の現状と課題

講師 細谷龍一郎氏（湘南医療大学薬学部・日本DMAT隊員）

講演4：地域から世界へ：薬剤師による災害対応力の強化と国際貢献への展望

講演 小林映子氏（日本赤十字社医療センター薬剤部・国際医療救援部）

○分科会Ⅱ（テーマ：実務実習）

・内容：迫る！改訂コアカリでの実務実習 ～現場はどう備えるか～

講演1：「薬学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版」と「臨床における実務実習に関するガイドライン」について

講師 本間浩氏（薬学教育協議会）

講演2：教育現場から見た実務実習のこれから～学生の学びを現場でどう育むか～

講師 日下部吉男氏（帝京大学薬学部）

講師3：薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）に基づく今後の実務実習の展望

講師 田極淳一氏（日本薬剤師会 薬学教育委員会）

○会員発表（演題登録数：口頭発表6題、ポスター発表19題）

ア 最優秀賞

・【活動報告】川崎市院外処方プロトコル拡大の現状

発表者：恵木立氏（一般社団法人川崎市薬剤師会）

イ 優秀賞

・Amyloid β 誘導のアルツハイマー型認知症モデルにおけるX線照射の影響

発表者：新田友香氏（横浜薬科大学放射線科学研究室）

・入院時・退院時薬剤管理サマリーに関する薬薬連携研修からみた入退院連携の実態・課題：アンケート調査

発表者：服部裕吾氏（横浜市旭区薬剤師会）

ウ 奨励賞

・エトミデート含有VAPE「ゾンビタバコ」乱用の実態と健康・社会的影響の評価

発表者：行方瑛理氏（湘南医療大学薬学部医療薬学科）

・麻薬・抗がん剤ガラスアンプルの破損・薬液飛散を防止するプロテクトシールの開発と性能評価

発表者：石田歩羽氏（湘南医療大学薬学部薬物治療研究室）

○市民公開講座

・講演：若者の薬物乱用問題最前線：おくすりのオーバードーズについて考える

講演者：船田正彦氏（湘南医療大学薬学部）

○健康測定会

湘南医療大学薬学生が主体となり、公衆衛生・学薬委員会協力のもと実施

・項目：らくらくウェルネス、マインドチェッカー、肌年齢計、ベジミル

○ブース展示：

・くすりと健康相談薬局ブース（地域保健委員会）

・生涯学習認定制度ブース（生涯学習委員会）

・広報委員会ブース

○周知：

・チラシ4,000部作成、会員薬局へ配付〔図1〕



図1:学術フォーラムチラシ

（2）日本薬剤師会学術大会等への参加・発表

第58回日本薬剤師会学術大会において、組織会員委員会、公衆衛生・学薬委員会、リスクマネジメント委員会、医療・介護保険委員会が発表した。

〔第58回日本薬剤師会学術大会〕

会 期：令和7年10月12日（日）・13日（月・祝）

会 場：国立京都国際会館

主 催：日本薬剤師会／京都府薬剤師会

テーマ：そうだ、薬剤師に聞いてみよう～プロフェッショナルリズムの涵養～

内 容：

○口頭発表：

・公衆衛生・学薬委員会：

小・中・高校生を対象とした薬物乱用防止教室を活用した医薬品の適正使用に関する指導の実践と評価

・医療・介護保険委員会：

薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会（心不全編）に関する意識調査

○ポスター発表：

・組織会員委員会：

将来の薬剤師会会員の育成、薬学部4年生からの薬剤師会活動への参加

・公衆衛生・学薬委員会：

市販薬の過剰使用（オーバードーズ）に関する小学生用及び中・高校生用の講義資料を使用した薬物乱用防止教室の実践と評価

・リスクマネジメント委員会：

医薬品適正使用に向けた啓発動画が薬剤師の意識に及ぼす影響

（３）薬学研究への助成

薬学の進歩発展に寄与するため、県内の薬剤師が行う研究に平成24年度から補助金を交付している。

ア 令和7年度薬学研究補助金事業概要

- ・募集期間：令和7年5月1日～7月31日
- ・補助金額：総額100万円以内

イ 募集状況

- ・申請件数：2件

（４）臨床薬学研究に関する倫理審査

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に基づき、薬剤師が活動する分野の研究について倫理審査を実施した。

- ・申請件数：4件

（５）薬学生育成に関する事業

質の高い実務実習教育を実現するため、新規の認定実務実習指導薬剤師を養成するワークショップおよび講習会を開催した。さらに、認定から5年以上経過した指導薬剤師を対象とする資格更新のための講習会を、神奈川県病院薬剤師会との共催および病院・薬局実務実習関東地区調整機構との共催補助事業として開催した。

ア 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

〔2025年度第6回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ〕

日 時：令和7年7月20日（日）9：00～19：00

令和7年7月21日（月・祝）9：00～18：00

会 場：横浜薬科大学

受講者：54名（薬局32名／病院16名／大学6名）

イ 認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催

〔2025年度第6回認定実務実習指導薬剤師養成講習会〕

日 時：令和7年7月6日（日）10：00～14：50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：57名（薬局43名／病院14名）

ウ 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催

〔2025年度第6回認定実務実習指導薬剤師更新講習会〕

日 時：令和7年7月6日（日）10：00～11：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：81名（薬局51名／病院30名）

エ 手引きを用いた実務実習の進め方の説明会

2025年度養成ワークショップ参加者および久しぶりに実習生を受け入れる指導薬剤師、実習生受入薬局の薬剤師（指導薬剤師以外）を対象とする実習の進め方説明会を開催した。

日 時：令和8年2月15日（日）10：30～12：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

参加者：18名（会員9名／一般9名）

オ 神奈川オリジナルアドバンストワークショップ

実務実習に関わって数年以内の指導薬剤師を対象として、実務実習における不安や困りごと等を共有し、また解消に向けた議論をすることで、実務実習の質向上をめざすワークショップの開催を予定していたが、申込少数のため中止とした。

カ 地域薬剤師会実務実習担当者会議

本会事業および日本薬剤師会や関東地区調整機構の通達・事業を各地域の実務実習担当者に伝達し、地域の問題点や課題を共有・解決することで円滑な実務実習の実施に資する地域薬剤師会実務実習担当者会議を開催した。

日 時：令和8年3月23日（月）19：00～20：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・「認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領」の改訂について
- ・薬学実践実習について
- ・神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会について
- ・意見交換

キ 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会

病院・薬局実務実習関東地区調整機構に委員が所属する大学と薬局・病院・大学の連携強化をさらに強化すべく、実務実習担当者間の懇談を通じて問題解決や情報共有を図る場として懇談会を開催した。

日 時：令和 8 年 1 月 28 日（水）19：00～20：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「令和 4 年度版改訂 薬学教育モデル・コア・カリキュラム」について
～現場の問題点を洗い出そう～（SGD）

（6）新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

新しい薬局・薬剤師のあり方検討ワーキンググループは、「新しい薬局・薬剤師のあり方に係る提言」報告書を作成した。併せて、報告書別冊として「突撃取材『くすりと健康相談薬局』」の抜刷を作成した。

また、第 11 回「くすりと健康相談薬局 認定式」において、「これからの薬局・薬剤師が目指すもの研修会」を開催した。

〔これからの薬局・薬剤師が目指すもの研修会〕

日時：令和 7 年 9 月 7 日（日）13：45～15：20

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：

演題 1 医薬分業小史 昭和 36(1961)年～平成 12(2000)年（処方箋が出始めた頃）

講師 秋葉保次氏（日本薬剤師会相談役）

演題 2 新しい薬局・薬剤師のあり方検討WGに寄せて ～薬剤師「冥利」～

講師 玉田慎二氏（医薬コラムニスト/ジャーナリスト）

演題 3 人と出会い、世界が変わる～神奈川県薬剤師会が人生の扉を開いてくれた～

講師 塚本久美氏（ヒロ薬局）

演題 4 主体性を持って地域と未来を創る薬剤師へ

講師 石井泰彦氏（石井薬局）

シンポジウム：

シンポジウムは、上記講師 4 名に加え、神奈川県薬剤師会ルーキーメンバー 2 名を加えた 6 名で行われ、今後の薬剤師のあるべき姿について討論した。

令和元年度より活動してきた本ワーキンググループは、報告書の公表をもって、「今後、薬剤師が将来に向かってどの方向を向いていくかを考える」等の目的を達したため、今年度で活動を終了する。

2 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

ア 神奈川県立学校の環境衛生検査

「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、次の事業を実施した。

- ・学校環境衛生検査（県立学校全校〈全日制、定時制、通信制、支援学校等〉）
- ・県立学校室内空气中化学物質濃度検査（シックハウス検査 18 校）
- ・県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 29 校）
- ・学校環境衛生検査機器の現物照合、神奈川県教育委員会との打合せ会（8 月 21 日）

イ 検査機器貸出

- ・IAQ モニター 3 台、粉じん計 2 台、騒音計 2 台が新たに貸与された。前期は 22 件、後期は 26 件の貸出があった。

ウ 学校報告書

- ・前期：197 校（全 205 校）
- ・後期：186 校（全 205 校）

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

- ・薬物乱用防止啓発教室の開催

神奈川県からの委託事業として、県内の公立・私立の小学校、中学校及び高等学校に在籍する児童生徒、教職員並びに保護者を対象に薬物乱用防止啓発教室を実施した〔表 1〕。本教室では、学校薬剤師が講師を務め、薬物乱用の危険性とその予防に関する啓発活動を行った。

〔表 1〕

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区分	令和 7 年度		令和 6 年度		令和 5 年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	21	4,643	18	4,413	20	5,466
一貫校	0	0	0	0	0	0
中学校	130	21,784	109	21,170	94	15,723
小学校	257	19,066	258	20,243	234	17,857
PTA等	4	786	4	694	3	1,028
計	412	46,279	389	46,520	351	40,074

(3) 医薬品適正使用教室の推進

- ・知識啓発資材の作製・書籍・DVD等啓発資材購入

小学生向けリーフレット[図2]を5,000部、中高生向けリーフレット[図3]を10,000部増刷し、医薬品適正使用教育の資料として学校薬剤師へ提供した。



図2:小学生向け教材『薬物乱用「ダメ!セツタイ!」』リーフレットデザイン



図3:中高生向け教材『薬物乱用「ダメ!セツタイ!」』リーフレットデザイン

(4) 学校保健向上事業

ア 公衆衛生研修会（学校環境衛生編）

日 時：令和7年5月11日（日）14：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・講演1 事務連絡「2024年度神奈川県立学校における環境衛生検査の実施状況報告等」

講師 今村裕樹氏（公衆衛生・学薬委員会委員）

- ・講演2 環境衛生検査の完全実施に向けて ～学校薬剤師の役割～

講師 北垣邦彦氏（東京薬科大学薬学部社会薬学研究室教授）

イ 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催

日 時：令和7年5月11日（日）12：00～13：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・学校環境衛生検査について

- ・薬物乱用防止啓発事業について
- ・第75回全国学校薬剤師大会 in 神奈川について
- ・意見交換

ウ 公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和7年8月3日（日）14：00～17：05

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・講演 学校環境衛生検査の基礎と実践～学校薬剤師としての初歩から学ぶ、検査の意義と基本的な器具操作～

講師 和田野歩氏（坂本薬局妙蓮寺店）

- ・実習 学校環境衛生検査実技～器具操作の体験と報告書作成～

講師 和田野歩氏（坂本薬局妙蓮寺店）

エ 全国学校保健調査の実施

日本薬剤師会が実施する全国学校保健調査は令和5年度から完全 web 化され、地域薬剤師会の協力のもとで実施された。本調査結果は、学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として毎年文部科学省へ報告している。

期 間：令和7年8月1日～10月31日

対 象：神奈川県内の学校薬剤師

内 容：2024年度の「プール水の水質検査、施設・設備、日常点検」について



オ 令和7年度全国学校保健・安全研究大会実行委員会の開催（幹事県）

神奈川県教育委員会が主催する全国学校保健・安全研究大会の準備委員会を次のとおり開催した。

〔第1回〕

日 時：令和7年4月24日（木）14：00～15：00

会 場：大同生命横浜ビル 13 階会議室 5

出席者：小川前会長、小林前常務理事、諸角事業課長

内 容：・実行委員会の設立・規約等

〔第2回〕

日 時：令和8年3月17日（火）

形 式：書面会議

内 容：・決算報告等

〔令和7年度全国学校保健・安全研究大会〕

日 時：令和7年11月20日（木）・21日（金）

会 場：横浜武道館（1日目）、パシフィコ横浜ノース（2日目）

出席者：長津会長、大島副会長、小林理事（開会式・表彰式）

参加者数：1,308人（現地参加：993人 オンデマンド参加 315人）

カ 第 75 回全国学校薬剤師大会実行委員会（幹事県）

〔第 1 回〕

日 時：令和 7 年 9 月 18 日（木）19：30～20：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（多目的ホール）

内 容：予算等

〔第 2 回〕

日 時：令和 8 年 1 月 22 日（木）20：20～20：25

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（多目的ホール）

内 容：決算報告

〔第 75 回全国学校薬剤師大会〕

日 時：令和 7 年 11 月 20 日（木）

（式典）17：00～19：00 （懇親会）19：15～20：45

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

参加者数：（式典）290 名 （懇親会）258 名

3 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し、医薬品の適正使用をはじめとする健康な社会づくりの普及啓発を図るため、関係団体との共催によりお薬相談や肌年齢測定などの健康度チェックを実施した。

ア 2025 くすりと健康すこやかフェア

日 時：令和7年10月16日（木）10：00～16：00

会 場：横浜新都市プラザ

共 催：神奈川県薬剤師会、神奈川県病院薬剤師会、神奈川県製薬協会、
神奈川県医薬品配置協会、神奈川県栄養士会

後 援：神奈川県、横浜市医療局

内 容：パネル展示、お薬相談、健康測定（骨健康測定、肌年齢測定、心と身体のバランス測定・野菜摂取度測定）、栄養相談、チラシ・パンフレット配布、医薬品等に関するアンケート

実 施：・骨健康測定（県薬剤師会）	134 件
・肌年齢測定（県薬剤師会）	111 件
・心と身体のバランス測定（県薬剤師会）	145 件
・野菜摂取度測定（県薬剤師会）	133 件
・お薬相談（県病院薬剤師会）	54 件
・栄養相談（県栄養士会）	26 件
・アンケート用紙回収	490 件



イ 資材作成

くすりの正しい知識を普及・啓発し、県民が健やかで心豊かな生活を送るための健康な社会づくりへ寄与するボードを作成した。

内 容：・『医薬品の過剰使用』について知ろう
・『食品着色料』について知ろう

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10月17日～23日)において、以下の活動を実施した。

- ・厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等が作製したポスターやチラシなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付。
- ・かかりつけ薬剤師の普及、医薬品適正使用、セルフメディケーションの推進等の啓発を実施。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

ア 県民向け情報発信事業

① YouTube 動画の投稿

薬の正しい飲み方や薬に関する身の回りのちょっとした疑問に答える動画を神奈川県薬剤師会公式 YouTube チャンネルに投稿した。〔図4・5〕

- ・第12弾：グレープフルーツジュース注意が必要な理由（令和7年12月4日投稿）
- ・第13弾：消毒用エタノール 効く？効かない？（令和8年3月3日投稿）



図4：「グレープフルーツジュース注意が必要な理由」youtube 画像



図5：「消毒用エタノール 効く？効かない？」youtube 画像

② 神奈川県薬剤師会学術フォーラム市民公開講座等PR

県民参加を促進するため、PR動画を撮影し、Facebook およびInstagram で配信した。今年度も、神奈川県薬剤師会学術フォーラムにて「神奈薬ほう介（かなやくほうすけ）着ぐるみを活用し、神奈川県薬剤師会のPRと県民向け公開講座、健康測定会の参加促進を行った。

③ YouTube 動画や各地域薬剤師会の健康フェア等の集客用に「神奈薬ほう介」のパペットを作製した。〔図6〕



図6：神奈薬ほう介のパペット画像

- ④ 地域薬剤師会が主催する健康フェア等のイベントに神奈薬ほう介が参加し、健康測定会やおくすり相談、献血事業等への参加促進を図り、県民に向けて情報発信を行った。また、地域薬剤師会との連携強化も積極的に実施した。

・茅ヶ崎寒川薬剤師会「寒川食育ひろば」〔図7〕

日 時：令和7年6月8日（日）10：00～14：00

場 所：シンコースポーツ寒川アリーナ サブアリーナ



図7：「寒川食育ひろば」に参加している神奈薬ほう介とゴロ坊

・秦野市薬剤師会献血事業〔図8〕

日 時：令和7年10月5日（日）10：00～15：00

場 所：イオン秦野ショッピングセンター入り口前



図8：イオン秦野ショッピングセンター入り口前でイベントに参加している神奈薬ほう介

・磯子区薬剤師会「防災スマイリングフェア2026」〔図9〕

日 時：令和8年3月8日（日）10：00～15：00

場 所：岡村公園少年多目的広場

図9：岡村公園少年多目的広場でイベントに参加している神奈薬ほう介



(4) セルフメディケーションの推進

ア OTC 医薬品副作用情報収集

医薬品等の安全の向上を図るため、以下の制度について周知活動を実施した。

- ・医薬品・医療機器等安全性情報報告制度
- ・医薬品等の副作用情報報告制度

イ 県民向け啓発グッズの作製

セルフメディケーションの普及・啓発を目的として、各種イベント「くすりと健康相談薬局県下一斉相談週間」等で配布するグッズを作製した。作製したグッズは以下のとおりである。

- ・セルフメディケーションリーフレット&マスク (8,000 枚) [図 10]
- ・カレンダー 壁掛けタイプ (6,000 部) [図 11]
- ・啓発ポスター秋バージョン (A2 判 2,400 枚) [図 12]
- ・春バージョン (A2 判 2,400 枚) [図 13]



図 10:セルフメディケーションリーフレット表面・裏面



図 11:カレンダー壁掛けタイプ年間用、12 枚用



図 12:秋バージョンポスターデザイン



図 13:春バージョンポスターデザイン

ウ 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

本研修は、地域住民のセルフメディケーションをサポートする能力を向上および薬局薬剤師の職能充実を目的として開催した。研修は「総論編」と「各論編」の2回シリーズで構成されている。

① セルフメディケーション研修会 ～総論編～かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会

日 時：令和7年5月25日（日）14：00～16：40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・薬機法改正とOTC医薬品の適正使用～薬剤師の役割～

講師 上野清美氏（公益社団法人日本薬剤師会専務理事）

- ・薬局OTCスキルアップセミナー～臨床知識から商品選びまで分かる～

講師 鈴木伸悟氏（ガーデン薬局）

② セルフメディケーション研修会～各論編～かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会

日 時：令和8年2月15日（日）14：00～16：50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・慢性便秘症の実態 ー病態と治療ー

講師 黒水丈次氏（松島病院名誉院長 排便機能科長）

- ・便秘のお薬の売り方

講師 水野元氏（都筑漢方センター ハタ薬局）

- ・（SGD）便秘に対するOTC販売

演習指導 水野元氏（都筑漢方センター ハタ薬局）

- ・（情報提供）医薬品販売制度の変更について

講師：堀川壽代氏（日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会委員長）

エ 健康測定機器の実例報告

貸出している健康測定機器を積極的に活用している以下の薬局の事例を会誌「薬壺」で紹介した。

- ・令和7（2025）年 7・8月号掲載：横浜東戸塚調剤薬局（横浜市戸塚区）

- ・令和8（2026）年 1・2月号掲載：葛が谷薬局（横浜市都筑区）

オ 健康測定機器による健康相談の推進

県民のセルフメディケーション推進のため、健康測定機器10種17台を地域薬剤師会及び会員薬局に貸し出している。〔表2・3〕

注記：「くすりと健康相談薬局」に所属する本会会員には、優先的に予約受付期間を設けている。

〔表2〕 令和7年度貸出区分別実績 （令和8年3月31日現在）

区分	件数
会員薬局	72件
地域薬剤師会	46件
くすりと健康相談薬局	113件
計	231件

〔表 3〕 令和 7 年度貸出機器等実績

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区 分 機器名	保有台数	貸出台数		計
		会員及び 地域薬剤師会	くすり与健康 相談薬局	
脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器	3	42	26	68
血管年齢計	2	26	18	44
骨健康測定器	2	39	28	67
肺年齢計	2	8	8	16
血圧計	1	2	5	7
心と身体のバランス測定器	2	16	17	33
肌の年齢測定器	2	33	17	50
心血管指標AVI・API&血圧測定	1	10	14	24
認知機能セルフチェッカー	1	8	13	21
ベジミル	1	19	21	40
環境放射線モニター※	2	0	0	0
計	19	203	167	370

※自然物や人工物から放出される放射線測定器

カ 医薬品登録販売者継続研修（県医薬品登録販売者協会との共催事業）

医薬品医療機器等法に基づき、登録販売者を置く薬局開設者に課せられた法定義務研修である本研修を実施した。

〔第 1 回〕

日 時：令和 7 年 6 月 25 日（水）13：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：122 名（会員 51 名/一般 71 名）※DVD 研修での受講含む

内 容：

- ・皮膚の損傷
- ・【薬事関係法規・制度 医薬品の適正使用安全対策等】令和 7 年薬機法改正案を中心に
- ・リスク区分等の変更があった医薬品 ナシビンメディ（オキシメタゾリン/クロルフェニラミン）

〔第 2 回〕

日 時：令和 7 年 9 月 18 日（木）13：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：121 名（会員 51 名/一般 70 名）※DVD 研修での受講含む

内 容：

- ・頭が痛い
- ・抗炎症成分の薬理学

〔第 3 回〕

日 時：令和 7 年 11 月 12 日（水）13：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：124名（会員52名/一般72名）※DVD研修での受講含む

内 容：

- ・痔
- ・全国統一薬事講習会

〔第4回〕

日 時：令和8年2月12日（木）13：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：124名（会員51名/一般73名）※DVD研修での受講含む

内 容：

- ・アレルギー性鼻炎
- ・便通異常

（5）くすりと健康相談薬局の推進

9月1日付で新規4件、更新67件（令和4年度認定薬局）を認定し、県内の認定薬局は計259薬局となった。

ア 令和7年度くすりと健康相談薬局の認定

申請期間：令和7年5月7日～令和7年5月30日

申請薬局：71薬局

認定薬局：71薬局

認定期間：令和7年9月1日～令和10年8月31日

イ 令和7年度くすりと健康相談薬局認定証交付式の開催

日 時：令和7年9月7日（日）13：00～13：50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出 席：33薬局

備 考：同日、「これからの薬局・薬剤師が目指すもの研修会」を新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG企画として同時開催した。

ウ チラシ・啓発資材の作製・配布

くすりと健康相談薬局制度の普及を目的として、次の啓発資材を作製した。

- ・くすりと健康相談薬局チラシ 27,000枚〔図14〕



図14：くすりと健康相談薬局チラシ デザイン

エ 県下一斉相談週間の開催

認定薬局で日々行う相談薬局業務を改めて県民にアピールするため、「県下一斉相談週間」を実施し、地域住民への効果的な情報発信と、薬局利用の促進を図った。

期 間：令和7年11月8日（土）～16日（日）

会 場：県内全認定薬局

内 容：啓発資材を用いたセルフメディケーションの推進

健康測定機器等を利用した健康フェアの開催等

また、昨年に引き続き認定薬局が独自に作製したチラシのポスティングについて、費用の一部を補助する企画を実施し、14 薬局に対し合計 257,923 円の補助を行った。[図 15]



図 15: 下一斉相談週間
ポスティングチラシ(一部抜粋)

啓発資材：

- ・県下一斉相談週間ポスター（300 枚、チラシ 8,000 枚）[図 16]
- ・ウェットティッシュ（7,000 個）《増刷》[図 17]
- ・カレンダー 壁掛けタイプ（2,000 部）
卓上タイプ（8,000 部）[図 18]
- ・フラッグ（50 枚）[図 19]



図 16: 下一斉相談週間
ポスター・チラシデザイン



図 17: ウェットティッシュ



図 18: カレンダー卓上タイプ



図 19: フラッグデザイン

オ 認定薬局取材記事の会誌への連載

会誌「薬壺」において、認定薬局の取組を紹介するため、認定薬局を取材し、インタビュー記事を掲載した。

- ・第 24 回 くすりサガミ薬局（川崎市高津区：2025 年 9・10 月号）

（6）薬事情報センターの充実

医薬品の適正使用や薬害の防止等を推進するため、厚生労働省、日本薬剤師会、製薬企業等から医薬品・副作用等の情報を収集し、会員・医師・県民からの医薬品、化学物質、医療保障制度等に関する相談への対応と情報提供を実施した。

相談薬局件数の推移

- ・令和 7 年度：565 件
- ・令和 6 年度：960 件

4 医療安全に関する事業

(1) 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画

神奈川県、神奈川県医師会、神奈川県病院協会、神奈川県看護協会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会の計6団体が共催で同セミナーを開催した。

ア 神奈川県医療安全推進セミナーの開催

日 時：令和7年9月6日（土）14：30～16：30

会 場：神奈川県総合医療会館 7階講堂

形 式：web 併用

受講者：236 名

内 容：

- ・医療安全の歴史から理解する基礎知識

～医療事故の歴史・医療政策の意味・医療安全の基礎知識をまとめて解説～

講師 菊地龍明 氏（横浜市立大学附属病院 医療の質向上・安全管理センター 医療安全管理部 部長／医療安全・医療管理学 診療教授 病院長補佐、安全管理指導者）

イ DEM 事業

薬局による医薬品の適正使用への層貢献を目的に、地域の薬局から副作用情報などを迅速かつ的確に収集する基盤の整備を目指す日本薬剤師会主導の DEM（Drug Event Monitoring）事業に協力し実施している。

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

医薬品の過剰使用（オーバードーズ）防止対策として作成した啓発動画を患者とのコミュニケーションツールとして活用し、地域イベント等でも広く周知を図った。

(3) 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進

多重受診防止には、保険者から制限対象患者の情報をリスクマネジャーを通じて薬局へ情報提供し、再発防止に努めている。処方箋偽造事例についても同様に情報提供を行い、再発防止に取り組んだ。

ア 多重受診に関する情報の周知

イ 多重受診等に関する情報提供：

- ・多重受診 92 件
- ・処方箋等偽造等 2 件
- ・なりすまし受診 1 件

(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理及び安全性確保のため、高度管理医療機器等販売業等の営業所管理者等は、毎年継続的な研修の受講が義務付けられている。

本会では、日本薬剤師会との共催により研修会を開催した。

会 期：令和8年2月2日（月）～2月9日（月）の8日間

形 式：web 開催（日本薬剤師会提供のコンテンツによるオンデマンド配信）

受講者：829名（会員649名/一般180名）

5 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

献血事業を推進するため、地域薬剤師会や神奈川県赤十字血液センターと協力し、ルーキーメンバーとともに献血への協力を呼びかけて献血の大切さを積極的に周知した。

〔第1回〕

日 時：令和7年9月23日（火・祝）10：00～16：00

会 場：東急武蔵小杉駅東口

〔第2回〕

日 時：令和8年2月8日（日）10：30～16：00

会 場：相模大野駅北口

(2) 薬物乱用防止の啓発

ア 街頭キャンペーン

成人の日に新横浜駅周辺で、令和7年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーンを実施した。

・日 時：令和8年1月12日（月・祝）

第1部 11：15～12：15 ※第1部に参加

第2部 13：30～14：30

・会 場：J R東海新横浜駅北口東広場（横浜市営地下鉄側）及びペデストリアンデッキ

・主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

イ 街頭キャンペーン啓発資材作製

県民向けに薬物乱用防止及び薬物の危険性の周知を図るため、啓発資材としてボールペン〔図20〕10,000個を作製し、薬と健康の週間事業やくすりと健康すこやかフェア等で配布した。



図20：ボールペンデザイン

ウ 県民向け薬物乱用防止啓発資材作製

薬物乱用防止啓発リーフレットを4,000部増刷。〔図21〕



図21：薬物乱用防止啓発リーフレットのデザイン

エ 県民向け薬物乱用防止啓発ツールの作成

学校薬剤師が薬物乱用防止教室等で使用するためのパワーポイント（小学生用・中高生用）の作成やパワーポイントを用いた授業を行う際のポイントをまとめた指導案をホームページに掲載した。

オ アンチ・ドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者及び地域薬剤師会等への情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「2025年版薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」の購入の取りまとめを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。

（３）公衆衛生向上事業

〔公衆衛生研修会（食品添加物編）〕

日 時：令和８年２月１日（日）１４：００～１５：５０

形 式：web 開催

内 容：新型栄養失調とミネラル不足に関与する食品添加物

講師 中戸川貢氏（（一社）ナチュラル＆ミネラル食品アドバイザー協会代表理事）

（４）かながわ健康財団等事業への参画

ア 健康チャレンジフェアかながわ 2025

神奈川県内の専門職団体が「健康寿命延伸に向けてセルフケアに基づく健康づくりの実践活動普及」を目的に企画されたイベントに、実行委員会の構成メンバーとして負担金を拠出した。

・日 時：令和７年１０月２５日（土）１２：００～１６：００

・会 場：横浜そごう９階（市民フロア）センタープラザ・シビルプラザ

・主 催：かながわ健康財団

イ かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへの参加

〔横浜会場〕

・日 時：令和７年７月３１日（木）１５：５０ ～ １７：１５

・会 場：ＪＲ関内駅南口付近及びみなとみらい線日本大通駅付近

・派遣人数：３名

6 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれるため、地域における医療・介護の関係機関と連携して、次の事業を実施した。

ア 薬剤師向け支援事業

〔在宅医療研修会〕

日 時：令和7年12月7日（日）14：30～16：10

会 場：web 開催

内 容：在宅医療・介護に関する最近の動向について

講師 池田大輔氏（厚生労働省老健局老人保健課高齢者薬事サービス調整官）

イ 在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

〔在宅医療支援薬局リストの作製〕

地域包括ケアシステムの中で多職種が協働し、また医薬品を提供できる環境を整備する目的で平成21年から「在宅医療支援薬局リスト」を作成してきたが、地域薬剤師会において地域における夜間・休日の医薬品提供体制（在宅含む）に係る情報の周知、及び活用が充実したことから冊子の作製を見送った。

ウ 認知症対応力向上研修会の開催

多くの参加を募るため、チラシ（4,000枚）を作成し薬壺に同封した。〔図22〕

日 時：令和7年9月23日（火・祝）13：00～17：00

形 式：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・ 神奈川県認知症施策

講師 渡邊朋也氏

（神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ副技幹）

- ・ Neucop-Q で地域に埋もれる患者さんを早期診断へ

講師 伊達悠岳氏（済生会横浜市東部病院 脳神経内科（認知症）部長）

- ・ 早期発見/早期診断/早期対応による MCI 実践の勧め

講師 前田恒夫氏（MCI 当事者/地域交流実践サポーター）

本間克之氏（プラチナ世代交流フリーペーパーえがお編集長）

- ・ MCI の対応と困りごと

講師・SGD 進行 松島大輔氏（田辺薬局）

エ 薬局を通じたうつ病啓発活動

神奈川県と武田薬品工業株式会社が令和元年9月6日に締結した「神奈川県における地域医療の充実及び医療費の適正化の推進に係る連携・協力に関する協定」に賛同し、



図 22: 認知症対応力向上研修会
チラシ、デザイン

「うつ病」に対する正しい理解・普及啓発を行い、神奈川県民のこころのケアをサポートすることを目的として「薬局を通じたうつ病啓発活動」の実施した。

オ お薬に関する出前講座への講師派遣

医薬品の正しい使い方や副作用が出たときの対応など、お薬全般について分かりやすく説明をする「お薬の基礎知識に関する出前講座」を神奈川県から委託を受け、以下に薬剤師を講師として派遣した。

派 遣 先：25 団体 30 件

派遣人数：30 名

カ 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会から推薦された医療・介護保険委員会の委員が専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に貢献した。具体的には、以下の機関に薬剤師を講師として派遣した。

〈派遣先機関及び回数〉

- ・介護の未来 4 回（5 月 28 日～6 月 2 日、6 月 27 日～7 月 29 日、12 月 3 日～1 月 20 日、12 月 24 日～1 月 6 日）
- ・神奈川県社会福祉協議会 3 回（7 月 30 日～8 月 22 日、9 月 5 日～9 月 25 日、1 月～2 月）

（2）薬・薬連携の強化と相互の資質向上

ア 薬薬連携情報交換会

薬薬連携を通じて、神奈川県病院薬剤師会との相互関係の理解を深め、薬薬連携合同セミナーや褥瘡治療薬サミットなどの共催事業の充実を図るため会議を開催した。

日 時：令和 7 年 9 月 3 日（水）19：30～20：30

形 式：web 開催

イ 神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

〔薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー〕

日 時：令和 8 年 2 月 5 日（木）19：30～21：10

会 場：web 開催

内 容： テーマ：地域フォーミュラリについて

- ・横須賀地区における地域フォーミュラリの取り組みについて（病院薬剤師の立場から）

講師 山崎勇輝氏（神奈川歯科大学附属病院薬剤部）

- ・横須賀地区における地域フォーミュラリの取り組みについて（薬局薬剤師の立場から）

講師 鈴木貴之氏（クリタ調剤薬局 米が浜店）

- ・質疑応答

〔褥瘡治療薬サミット in かながわ 2025〕

日 時：令和 7 年 10 月 26 日（日）13：00～17：25

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・限られた薬剤で省力化・効率化を実現する外用薬治療フルタ・メソッド～基剤ファーストと薬剤滞留～

講師 古田勝経氏（医療法人愛生館小林記念病院褥瘡ケアセンター）

- ・皮膚創傷管理に重要な視点の「失禁ケア」について

講師 片山真紀氏（済生会横浜市南部病院皮膚・排泄ケア特定認定看護師）

- ・（実習）6種類の褥瘡外用薬と1種類の創傷被覆材の組み合わせで、省力化したガーゼ交換で効率的に褥瘡を治すフルタメソッド

講師 古田勝経氏（医療法人愛生館小林記念病院褥瘡ケアセンター）



ウ 神奈川県病院・診療所・薬局実務実習者講習会共催の開催

高度化した病院薬局の実務講習を行い、信頼される薬剤師としてその専門職能を通じ医療に寄与することを目的とする講習会を開催した。

期 間：令和8年3月9日（月）～3月14日（土）

（3）後発医薬品の使用促進

- ・県民向け使用促進

後発医薬品の使用促進について、ホームページで情報を発信した。

（4）医薬分業の質的向上

適切な保険請求を実施するため、調剤報酬に関する情報を収集・共有した。

ア 診療報酬に関する三者懇談会

日 時：令和7年9月27日（土）15：00～17：00

会 場：社会保険診療報酬支払基金神奈川支部

イ 保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し、会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に、保険指導薬剤師による打合せ会を開催した。

日 時：令和7年10月30日（木）18：30～20：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：個別指導の事例研究

ウ 行政指導への立会等について

関東信越厚生局の依頼により、関東信越厚生局及び神奈川県による社会保険医療担当者の新規・個別指導、集団的個別指導へ立ち会った。

エ 薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会の開催

日 時：令和7年10月5日（日）14：00～17：25

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・薬学的思考をのばす対人業務について

講師 渡辺美穂氏（二子薬局都筑店）

- ・（SGD）薬剤レビューによる分析と服薬指導の実践及び服薬情報提供書の作成

- ・テーマ：心不全患者のポリファーマシー解決のための薬剤レビュー

進行 阿部隆介氏（医療・介護保険委員会）

オ 保険調剤の正しい理解のための研修会の開催

日 時：令和7年7月6日（日）13：00～15：35

形 式：web 開催

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 露木聡史氏（藤沢薬剤師会薬局）

・調剤審査における指摘事項について

講師 亀山俊氏（社会保険診療報酬支払基金 委員）

・法的根拠から考える薬局がしなくてはならない事・してはならない事

講師 村山慶矩氏（もこ薬局川崎貝塚）

カ 社会保険指導担当者会議の開催

保険調剤の算定要件を理解し適切な保険請求の実施並びに理解に資するために、地域薬剤師会の社会保険担当者を対象として令和8年度調剤報酬改定の説明を予定していたが、6月1日施行となるため開催を見送った。

キ 保険薬局ハンドブックの作製・送付

令和6年度改訂の2024保険薬局ハンドブックの有償販売を行った。

・販売数 13冊

ク オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

令和7年度第2回薬事審議会要指導・一般用医薬品部会（令和7年8月29日開催）において、緊急避妊薬の要指導医薬品としての製造販売承認が可と判断されたことを受け、新たに「緊急避妊薬の調剤及び販売に関するe-ラーニング」（（公財）日本薬剤師研修センター主催）が開始されたため、「オンライン診療に伴う緊急避妊薬に関する研修会」の開催は中止した。

ケ 緊急避妊薬販売に係る連携体制の構築

「緊急避妊薬を販売する薬局・店舗販売業の店舗における近隣の産婦人科医等との連携体制の構築について」の厚労省通知に基づき、神奈川県薬剤師会と神奈川県医師会との間で合意書を取り交わし、緊急避妊薬販売に係る連携体制を構築した。

コ 薬剤師資格証（HPKI）の交付事業

電子処方箋の運用に必要な薬剤師資格証（HPKI）の交付を日本薬剤師会と連携して実施した。

・令和7年度交付数：193件

（5）外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民が一般用医薬品を購入する際の支援として、以下の多言語による情報提供を行った。

・「外国籍県民のための服薬情報提供文書」

・「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」

・「多言語音声翻訳アプリ（VoiceTra）」及び「多言語医療問診票」

(6) 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

ア 公益目的事業補助金・先導的事業委託

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が実施する公益目的事業に対し、経費の一部を補助する公益目的事業補助金を決定し、交付額の2分の1を交付した。

なお、令和7年度の先導的事業については、地域薬剤師会からの申請がなかったため、委託金の交付はなかった。

- ・公益目的事業補助金：18 地域・職域薬剤師会 交付決定額：21,749,000 円
- ・先導的事業委託金：なし



イ 地域医薬品提供体制構築推進事業

厚労省委託事業「地域医薬品提供体制構築推進事業」を受託し、地域薬剤師会が実施する地域医薬品提供体制構築のためのアクションリストの取組みを支援した。

委託契約期間：令和7年10月22日～令和8年2月28日

参加地域薬剤師会：15 地域

委託額：6,992,056 円

(7) 健康サポート機能向上に関する事業の推進

「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」および健康サポート薬局の基準告示（平成28年2月 厚生労働省）に基づき、日本薬剤師会と連携して研修事業を実施した。現在の神奈川県内健康サポート薬局登録数は194薬局。

① 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）

日 時：令和7年7月27日（日）9：00～13：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：41名（会員18名/一般23名）

内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》

- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
- ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
- ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
- ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源他

② 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）

日 時：令和7年7月27日（日）14：00～18：40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：38名（会員16名/一般22名）

内 容：・健康サポート薬局の理念

- ・一般用医薬品等を取り巻く現状
- ・薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）ほか

③ 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）

日 時：令和7年12月14日（日）9：00～13：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：24名（会員16名/一般8名）

内 容：①と同様

④ 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）

日 時：令和7年12月14日（日）14：00～18：40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：13名（会員9名/一般4名）

内 容：②と同様

7 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

災害発生時における各地域薬剤師会との迅速な連携及び的確な初動体制の確保を目的として、災害時優先携帯電話を活用した通信訓練を実施した。

また、FOMA 回線（ガラケー）の利用中止に基づき、該当する地域薬剤師会所有の端末について、スマホへの更新手続きを実施した。

- ・訓練名称：災害時優先携帯電話通信訓練
- ・実施日：令和7年12月9日（火）
- ・訓練内容：各地域薬剤師会の担当者が所持する災害時優先携帯電話を用いて、通信状況の確認や連絡体制の確認を実施した。

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、以下の取り組みを行った。

ア 必要な資機材・生活必需品等の定期的な確認

- ・会館内に資機材・生活必需品等が適切に配置されているかを定期的に確認した。
- ・在庫状況を把握し、不足分については随時補充を行った。

イ 災害対策用備蓄品の更新

- ・使用期限が到来した生活用品類について、速やかに入れ替えを実施した〔表4〕。

(3) 災害時対応の整備

ア 災害薬事コーディネーター体制整備事業

県保健医療福祉調整本部等で災害時の薬事対応等の補佐や助言等を行うとともに、平時においては災害薬事に精通した人材育成の中心的な役割を果たす「災害薬事コーディネーター」の配備事業を神奈川県からの委託事業として実施した。

① 候補薬剤師の選定

災害薬事コーディネーターとしての役割を担いうる薬剤師を選定し、必要な研修等により人材確保・養成を行った。

県では、11名を災害薬事コーディネーターとして県知事から委嘱した。

② 令和7年度災害薬事コーディネーター養成研修会

日 時：令和7年11月30日（日）9：00～17：00

受講者：36名

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：演習1「我が国の災害医療提供体制」

演習2「災害時の初動と共通言語」

演習3「本部での調整活動」

演習4「状況把握と資源の再配分」

講 師：江川孝氏（福岡大学薬学部救急・災害医療薬学研究室教授）

牛尾聡一郎氏（福岡大学薬学部救急・災害医療薬学研究室助教授）

渡邊暁洋氏（兵庫医科大学医学部危機管理医学講座特任助教授）

③ 災害薬事コーディネーター活動手順書の作成

災害薬事コーディネーターの業務内容を具体化することを検討し、その結果を活動

手順書としてとりまとめた。

新 イ 災害時における活動係の対応

災害発生時における薬剤師の役割を強化すべく、外部団体が主催するイベントへ参加し、知識と実践的スキルの向上に努めた。

〔ぼうさいこくたい 2025in 新潟〕

日 時：令和7年9月6日（土）～7日（日）

会 場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

主 催：防災推進国民大会 2025 実行委員会

〔表4〕災害用備蓄品整備一覧表（令和8年3月31日現在）

種別	品名	数量
1	飲料水	ミネラルウォーター 600
2	食品	白飯 50 雑穀と根菜のおこわ 50 山菜おこわ 50 五目御飯 50 ドライカレー 50 炊込みご飯 100 炊込みご飯 350 ＜主食・飯類合計＞ 350 ツナ缶 48 ぶり大根缶 24 とりそば缶 24 すきやき缶 24 缶入りバーカリーバン 72 野菜シチュー 60 発熱剤 220 割りばし 300 スプーン 300 発砲スチロール容器 200 カセットガス用コンロ 2 カセットガス 750 鍋・柄杓・やかん 各2 トイレットペーパー 60 生理用品 448 紙パンツ(L-L) 410 紙パンツ(M-L) 48 紙パンツ(M-L) 54 非常用携帯トイレ（凝固消臭剤） 500 スクットトイレ 4 ポリバケツ 4 洗面器 4 ビニール袋 400 トイレ消臭剤 10 ウェットティッシュ 64 タオル 250 ハンドソープ 10 はみがきセット 20 折りたたみ式ベッド① 11 折りたたみ式ベッド② 12 寝袋 20 毛布 110
3	器具用品類	防災ヘルメット 30 レインコート(雨合羽) 20 保温アルミシート 100 使い捨てカイロ 300 ソーラー手回し充電懐中電灯 18 懐中電灯 2 手回し充電ラジオライト(乾電池併用タイプ) 1 手回し充電ラジオライト(手回し1分充電タイプ) 15 手回し充電ランタン 7 ペンライト 30 スタンドライト 2 クリップライト 3 ハンドスピーカー 1 乾電池(単1) 8 乾電池(単3) 10 乾電池(単3) 30
4	生活用品類	救急箱 1 救急セット(タックレスキュー救急セット) 50 一般用医薬品 1 薬袋 1 組み立て式簡易ベット 1 血圧計 1 サージカルマスク 3400 ディスポーザル手袋 6500
5	寝具類	工具セット① 1 工具セット② 1 ドラム式延長コード 3 作業用カッター 3 津波対策用 吸水性土壌50枚/一箱 1 スタンド式手動ポンプ 1 ブルーシート 10 日光発電ソーラーチャージャーパネル 1 日光発電ソーラーチャージャー蓄電器 1 ガス簡易発電機 3 軍手 144
6	防寒用品類	
7	電灯・ラジオ等	
8	医療用品類	
9	機材・工具等	

Ⅱ 法人事業

1 法人組織運営に関すること

(1) 総会、理事会等開催など

ア 各種会議の開催

総会、理事会、常務理事会、正副会長会、地域・職域薬剤師会会長協議会、監査会などの各会議を開催した。また、総会運営や代議員選挙、役員選挙等に必要な事項を決定するため、総会議事運営委員会、代議員選挙管理委員会、役員選挙管理委員会を開催した。

イ 理事及び監事選挙の実施

5月23日に選挙の告示、立候補受付を開始し、6月6日に受付を締め切った。6月22日に開催された総会において、理事及び監事候補者が選出された。任期は令和7年6月22日の通常総会終結後から令和9年6月の通常総会終結時までとした（詳細はP1・2参照）。

ウ 各委員会委員の選任

令和7・8年度各委員会委員の選任に際して、地域及び職域薬剤師会へ推薦者の依頼を行い、7月3日に開催された理事会において委員を選任した。

エ 代議員・補欠代議員選挙の実施

7月11日に選挙の告示、立候補受付を開始し、8月1日に立候補受付が締切られ、9月1日代議員選挙期日、9月8日に選挙結果が告示され、代議員59名、補欠の代議員44名の当選者が決定した。任期は、2年後の代議員・補欠の代議員選挙が終了する時までとした。

オ 春秋会

令和7年度春秋会では、新役員紹介及び事業説明を行い、会員減少や制度運営をめぐって活発な意見交換がなされた。懇親を通じ、今後の組織強化と事業見直しの方向性を確認した。

カ 神奈川県三師会役員連絡協議会

本年度は、歯科医師会が当番となり次のとおり開催された。

日 時：令和7年9月10日（水）17：00～18：45

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：75名（本会26名/医師会24名/歯科医師会25名）

内 容：

○医療DXについて（基調発言）

・薬局における医療DXについて

講演者：福嶋仁氏（神奈川県薬剤師会常務理事）

・医療DXの現状と課題、将来の展望

講演者：川田剛裕氏（神奈川県医師会理事）

・医療DXについて

講演者：三須邦彦氏（神奈川県歯科医師会常任理事）

○組織力強化について（基調発言）

- ・組織力強化のために

講演者：藤本直樹氏（神奈川県薬剤師会常務理事）

- ・医師会の組織強化 勤務医へのアプローチ編

講演者：小松幹一郎氏（神奈川県医師会理事）

- ・神奈川県歯科医師会の組織強化に関する取り組み

講演者：山崎貴裕氏（神奈川県歯科医師会常任理事）

キ 第20回京畿道薬師会学術大会への招聘

令和7年7月13日（日）に韓国の京畿道で開催された「第20回京畿道薬師会学術大会」に招聘され、長津会長・大島副会長・諸角事業課長の3名で訪韓した。日本の地域包括ケアシステムにかかる講演等を行い、日本における薬剤師の在宅業務の実際や多職種との連携のあり方等について説明するなど情報交流を行った。

【第20回京畿道薬師学術大会】

日時：令和7年7月13日（日）10：00～17：00

場所：水原コンベンションセンター3階（京畿道水原市）

日程：① 開会式での来賓挨拶 長津雅則氏（神奈川県薬剤師会会長）

② 講演

テーマ：日本の地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割と報酬体系等について

講演者：大島崇弘氏（神奈川県薬剤師会副会長）

③ 7月12日に開催された、京畿道薬師会主催による歓迎会に参加

日時：令和7年7月12日（土）18：00

会場：水原市内のラムダプラザ水原ホテル新館2階トパーズホール

参加者：神奈川県薬剤師会、京畿道薬師会（延濟徳会長・役員）、韓国医薬通信代表等



京畿道薬師学術大会特別講演



京畿道薬師会主催による歓迎会集合写真

ク 京畿道薬師会との学術交流

大韓民国で令和8年3月から地域ケア統合事業が実施されることに伴い、日本における在宅薬療（訪問薬療）制度およびその運営現場を視察するため京畿道薬師会が来訪し、神奈川における地域包括ケアシステムの現状や医療・介護連携の取り組み等の説明や意見交換により学術交流を図った。

○薬局視察

日 程：令和8年2月6日（金）10：30～12：00

会 場：サン薬局 南部在宅療養支援部（奈良健氏）

○学術交流会

日 程：令和8年2月6日（金）14：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・事業説明 韓国薬剤師の薬剤レビューサービス
説明者 尹善姫氏（京畿道薬師会副会長、統合ケア委員会担当）
- ・地域包括ケアシステムについて（医師の立場から）
講師 磯崎哲男氏（神奈川県医師会理事）
- ・地域包括ケアシステムについて（薬剤師の立場から）
講師 小林弘忠氏（神奈川県薬剤師会理事）
- ・地域包括ケアシステムについて（行政の立場から）
講師 渡邊素広氏（神奈川県健康医療局保健医療部医療企画課長）
- ・意見交換



学術交流会集合写真

ケ 神奈川県薬剤師会会長賞等表彰式及び受賞者祝賀会

日 時：令和8年2月13日（金）12：00～13：40

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：37名（内受賞者19名）

コ 神奈川県薬業団体新年賀詞交換会

日 時：令和8年1月9日（金）15：00～16：30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：137名

(2) 組織強化と財務の健全化

ア 公益法人制度への対応

公益社団法人としての定期提出書類「令和6年度事業報告」「令和8年度事業計画」等を神奈川県公益法人認定委員会へ提出し、受理された。

イ 会員増強対策

令和6年度の保険薬局分担金納入があった105店舗に対し、令和6年度事業報告書を送付し、礼状および本会の事業案内を添えて入会促進を図った。

ウ ルーキーメンバー制度の開始と登録促進

未入会の若手薬剤師および薬学生が、本会の提供する体験機会を通じて職能に関する情報を得ることのメリットや活動の意義を実感することで本会に対する理解を深め、もって当該若手薬剤師及び薬学生の本会への入会希望を促進することを目的とした「神奈川県薬剤師会ルーキーメンバー制度」を令和7年4月1日からスタートさせ、ルーキーメンバーのホームページや地域薬剤師会へ募集チラシを配布するなど、登録促進を行った。また、各委員会協力のもと、委員会体験や研修会参加の案内等を行った。[表5]

・ルーキーメンバー登録者数 111名

(内訳) 薬学部4年生 2名 薬学部5年生 26名 薬学部6年生 38名
薬剤師1年目 24名 薬剤師2年目 9名 薬剤師3年目 10名
その他2名

・ルーキーメンバー（もしくはトライアルメンバー）を経て本会会員になった者6名

(内訳) ルーキーメンバー卒業生会員 1名（薬剤師4年目）

ルーキーメンバー且つ会員 5名（1年目2名、2年目1名、3年目2名）

・3月31日時点登録解除者 10名（薬剤師3年目ルーキーメンバー卒業生）

10名のうち2名は、ルーキーメンバー在籍中に入会し、会員となった。

エ ルーキーメンバー交流会の開催

ルーキーメンバー同士及び先輩会員薬剤師との交流会を開催した。

また、令和8年度のルーキーメンバー交流会の開催企画を行うにあたり、ルーキーメンバーが企画検討会に参加し、次年度の開催内容の検討を行った。令和8年度も引き続き企画検討会を実施する予定である。

[令和7年度ルーキーメンバー交流会]

日時：令和7年8月3日（日）13:45～18:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：

○公衆衛生研修会（学校環境衛生編）座学体験

○パネルディスカッション

テーマ：実は知りたい！薬剤師の就職・転職・開局事情

・病院薬剤師から保険薬局の薬剤師になった方

パネリスト：佐藤克哉氏（相模原市オレンジ薬局）

石垣美紀氏（横浜市神奈川区ホケン薬局）

- ・他の職種から薬学部に入り直して薬剤師になり病院、保険薬局に転職した方
パネリスト：藤田大輔氏（横浜市港北区小机薬局）
- ・薬局就職後開業した方
パネリスト：大山純弥氏（相模原市のぞみ薬局）
- ・懇親会

〔令和８年度ルーキーメンバー交流会企画検討会〕

日 時：令和８年１月１３日（火）１９：００～２０：３０

形 式：web 開催

参加者：ルーキーメンバー６名、組織会員委員会委員・役員４名

オ 薬剤師資格証交付時に、会員特典リーフレット（令和６年度増刷分）を含む入会案内セットを非会員へ配付し、入会促進を図った。

また、地域薬剤師会開催の研修会等においても、ルーキーメンバー募集チラシや会員特典リーフレットを配付し、入会促進に努めた。

カ 保険薬局分担金を納入いただいた保険薬局 95 店舗に謝礼として薬壺 1 年分を送付するとともに、入会促進を行った。

〔表 5〕 令和年 7 度ルーキーメンバーの研修会・委員会体験等参加実績

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区分	実施日	実施内容・詳細	主催委員会・薬剤師会等	参加実績
研修会への参加	2025/4/16	第18回川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会共催	1
	2025/5/21	骨粗鬆症治療薬適正使用研修会（鶴見）	鶴見薬剤師会共催	2
	2025/6/1	第 7 回薬剤師倫理研修会	倫理研修委員会	1
	2025/6/4	第19回川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会共催	1
	2025/6/29	災害時における薬局・薬剤師がやるべきこと、できること研修会	茅ヶ崎寒川薬剤師会共催	1
	2025/7/6	保険調剤の正しい理解のための研修会	医療・介護保険委員会	1
	2025/7/9	瀬谷区薬剤師会研修会	瀬谷区薬剤師会共催	2
	2025/8/24	第 8 回薬剤師倫理研修会	倫理研修委員会	1
	2025/9/23	認知症対応力向上研修会	地域保健委員会	1
	2025/10/1	瀬谷区薬剤師会研修会	瀬谷区薬剤師会共催	1
	2025/10/5	薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会	医療・介護保険委員会	1
	2025/11/2	神奈川県薬剤師会学術フォーラムin湘南医療大学	学術大会実行委員会	1
	2025/12/7	在宅医療研修会	医療・介護保険委員会	1
	2026/1/29	第 3 回研究倫理研修会	倫理研修委員会	1
	2026/2/5	薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー	医療・介護保険委員会	1
	2026/2/15	セルフメディケーション研修会～各論編～かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	地域保健委員会	1
	2026/3/7	かながわ心不全研修会	県病院薬剤師会共催	1
研修会シンポジスト	2025/9/7	これからの薬局薬剤師が目指すもの研修会	くすりと健康相談薬局制度運営協議会	2
委員会見学	2025/5/28 2025/6/5	令和7年5～6月委員会見学	薬壺編集委員会 広報委員会	2
	2025/7/23 2025/7/31	令和7年7～8月委員会見学	薬壺編集委員会、 公衆衛生・学薬委員会	2
	2025/11/26	令和7年11～令和8年3月委員会見学	薬壺編集委員会	1
委員会活動体験	2025/6/8	神奈薬ほう介出動イベント「寒川食育ひろば」での県民向けPR活動	広報委員会	2
	2025/9/7	くすりと健康相談薬局 認定証交付式の見学および健康測定機器体験会のお手伝い	くすりと健康相談薬局制度運営協議会	1
	2025/9/23	献血のお手伝いについて	公衆衛生・学薬委員会	2
	2025/10/16	「2025くすりと健康すこやかフェア」PR活動のお手伝い	公衆衛生・学薬委員会	1
	2026/3/8	神奈薬ほう介出動イベント「防災スマイリングフェア2026」での県民向けPR活動のお手伝い	広報委員会	2
交流会	2025/8/3	令和 7 年度ルーキーメンバー交流会	組織会員委員会	16
	2026/1/13	令和 8 年度ルーキーメンバー交流会企画検討会	組織会員委員会	6

(3) 会員管理

ア 入会審査、会員登録、会員証発行

- ・入会申請に基づき、51 回の入会審査を実施し、315 名の入会を承認した。
- ・神奈川県薬剤師会会員証要綱の改正を行い、令和 7 年 10 月 1 日から従来発行していた紙会員証を廃止、ホームページの各会員の「マイページ」に表示される電子会員証への切り替えを行った。

これにより、会員証の即時発行・再発行による会員の利便性向上、事務作業の効率化、製作経費の削減を図ることができた。

- ・会誌「薬壺」神奈川県薬剤師会入会者紹介ページには、本人の承諾を得た新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を掲載した。

イ 会費請求

会費等納入運用要綱に基づき、以下の会費請求を実施した。

- ① 神奈川県薬剤師会会費
- ② 公益法人運営特別会費
- ③ 日本薬剤師会会費

請求方法：

- ・口座振替：6 月に 1 回実施
- ・コンビニ収納等：8 月、12 月の 2 回実施

ウ その他

- ・日本薬剤師会への会費納入を適時実施した。
- ・日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し、報告した。
- ・令和 7 年度における医薬品医療機器総合機構副作用拠出金及び安全対策等拠出金について 159 件の申告・納付依頼を行った。(期間：令和 7 年 6 月～9 月)
- ・会員の手続きの利便性向上を目的として、ホームページ上に会員登録内容の変更や退会の手続きが可能な申請フォームを新規作成し、7 月より運用を開始した。同様に新規入会者用の申請フォームも作成し、同時期に運用を開始した

Ⅲ 共益事業

1 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進

ア 生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の運営

本会は平成 23 年度より独自の生涯学習認定制度を運営してきたが、平成 29 年 3 月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を取得し、生涯研修プロバイダーとして事業を実施している。

① 認証の情報

- ・ 認証番号：G21
- ・ 初回認証期日：平成 29 年 3 月 10 日
- ・ 有効期限：令和 14 年 3 月 9 日

② 認証の更新（2 回目）

認証は初回認証後、3 年ごとに更新審査を受けることが義務付けられている。令和 2 年 3 月に第 1 回更新を完了し、2 回目の認証有効期限は令和 8 年 3 月 9 日であるため、令和 7 年 9 月 18 日に開催された第 4 回理事会において、認証更新を行うことが議決され、更新手続きを行い、認証の更新が認められた。

③ 認定者の状況

- ・ 令和 7 年度認定者数：39 名（新規 12 名／更新 27 名）
- ・ 通算認定者数：73 名

④ 研修事業連絡会議

研修事業に関し、地域薬剤師会の研修実務担当者と情報共有を図り、研修会の開催促進および研修内容の充実を目的に開催した。

イ 生涯学習認定制度の普及促進

① 各研修会での周知活動

- ・ 研修会場において生涯学習認定制度の説明の実施
- ・ 申請手順書の配付

② 会誌「薬壺」での情報発信

- ・ 認定薬剤師に関する情報掲載
- ・ 連載企画「認定薬剤師・この人に聞く」による制度啓発

③ 本会ホームページでの情報掲載

④ 外部サイトとの連携

- ・ 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営する「認定薬剤師.com」への情報掲載

⑤ 研修制度の拡充

- ・ 連携研修事業と統合した共催研修の新規申請団体を対象に実施

⑥ 認定薬剤師支援施策

- ・ 認定薬剤師向け ID カードの作製

⑦ 県民への啓発活動

- ・県民向け認定薬剤師情報動画の周知

ウ 学習環境の整備

日本薬剤師会が策定した「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」に基づき、各種研修を企画、開催した〔表6・表7〕。

これらの研修は、ヒューマニズム（倫理）、医薬品の適正使用（安全性・有効性・経済性）、地域住民の健康増進、リスクマネジメント、法律制度の遵守の5つの領域を踏まえ、薬剤師の専門能力向上を図る内容としている。

① 認定研修会の開催

〔表6〕「令和7年度認定研修会 受講者数一覧」〔P58 参照〕

形式/認種別	A 認定型※1	B 依頼型※2	C 共催型※3	計
集 合	9	1	20	30
Web	6	2	20	28
ハイブリッド	1	2	6	9
計	16	5	46	67

※1 「A 認定型」 本会各委員会が企画・運営する研修

※2 「B 依頼型」 本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修

※3 「C 共催型」 地域薬剤師会または実施団体と企業等が計画・実施する研修会

② 共催研修事業（C 共催型）の視察

（横浜薬科大学同窓会「浜薬会」開学 20 周年直前記念講演会（感染症・地域活動）研修会）

日 時：令和7年10月12日（日）

（県下統一調剤事故防止研修会（港北））

日 時：令和7年11月11日（火）

（臨床漢方カウンセリング研修会 2025「婦人科領域における漢方カウンセリングの実際」）

日 時：令和7年11月15日（土）

（県下統一調剤事故防止研修会（逗葉））

日 時：令和7年12月11日（木）

（県下統一調剤事故防止研修会（平塚中郡））

日 時：令和7年12月11日（木）

（県下統一調剤事故防止研修会（三浦））

日 時：令和7年12月12日（金）

（かながわ心不全研修会（県病薬））

日 時：令和8年3月7日（土）

エ 講師派遣事業等

県内外の患者や生活者が満足できる質の高いサービスを提供するための人材育成を目的に、神奈川県内の地域および職域薬剤師会等が実施する研修に対して、講師の派遣など支援を行っている。

本年度は、以下の研修会において、本会が講師を選定し、地域薬剤師会との共催によ

り研修会を企画・実施した。

〔災害時における薬局・薬剤師がやるべきこと、できること〕

日 時：令和7年6月29日（日）13：00～16：10

形 式：茅ヶ崎市地域医療センターまたは、web 開催

共 催：茅ヶ崎寒川薬剤師会

内 容：

○講演1：被災地と災害時の薬剤師の役割

講演者 宮澤倫子氏（株式会社ワークイン つくし薬局）

○講演2：災害支援の現場で薬剤師にできること～1.5次避難所の支援を通して～

講演者 小川亮子氏（十二所薬局）

○講演3 モバイルファーマシーを実際に利用して感じたこと

講演者 桐生直明氏（岡本薬局）

○シンポジウム 災害時に薬局や薬剤師ができること、やるべきことについて

○その他、モバイルファーマシー見学

〔薬剤師も知ろう！フットケア～例えば正しい爪切りを知っていますか？～〕

日 時：令和8年3月1日（日）10：00～11：40

形 式：神奈川県総合薬事保健センターまたは、web 開催

共 催：湘南東地域薬剤師会協議会

内 容：

講演：足のプロが伝えるトータルフットケア～爪切りから靴の履き方、歩き方まで～

後援者 久田奈奈氏（足とカラダの癒しサロン nanaiRo ）

オ 学習活動への支援

① 本会企画研修会

〔第7回薬剤師倫理研修会〕

日 時：令和7年6月1日（日）13：30～16：45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ACPを理解して地域包括ケアシステムのなかでの薬剤師のプレゼンスを
爆上げする話

講師 日下部明彦氏（横浜市立大学地域医療・在宅医療学/総合診療
医学診療教授/院長補佐/横浜市医師会常任理事）

・(SGD) ケーススタディー

〔第8回薬剤師倫理研修会〕

日 時：令和7年8月24日（日）13：30～16：45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

・for 2040 変わりゆく地域医療体制～薬局・薬剤師に求められるレジリエンス～

講師 鈴木順子氏（北里大学名誉教授）

・(SGD) ケーススタディー

〔第9回薬剤師倫理研修会〕

日 時：令和7年11月16日（日）13：30～16：45

形 式：web 開催

内 容：

- ・処方薬によって奪われた希望と、繋がれた未来への命

講師 相澤美恵子氏（大学非常勤講師/成人看護学・終末期看護/上智大学グリーフケア研究所認定臨床傾聴士/終末期ケア専門士）

- ・(SGD) ケーススタディー

〔第3回研究倫理研修会〕

日 時：令和8年1月29日（木）19：00～20：45

形 式：web 開催

内 容：

- ・研究を始めよう！

講師 上村直樹氏（東京理科大学薬学部嘱託教授）

② 学習用 DVD

薬剤師倫理について学ぶ機会を増やすために用意した学習用 DVD の貸出を行った。

- ・貸出件数：1 件

カ 薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～

日 時：令和7年12月6日（土）14：30～17：00

形 式：web 開催

内 容：

- ・地域で薬局・薬剤師に求められる機能と必要とされる倫理観

調剤レセプト審査から見る「求められる薬局機能と倫理観」

講師 亀山 俊氏（社会保険診療報酬支払基金 委員）

- ・薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」について

講師 上野清美氏（公益社団法人日本薬剤師会 専務理事）

「オンライン服薬指導」について

講師 長津雅則氏（公益社団法人日本薬剤師会 常務理事）

〔表7〕令和7年度認定研修会 受講者数一覧（令和7年4月～9月）

会場A	神奈川県総合薬事保健センター	会場K	海老名市医療センター
会場B	川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）	会場L	保土ヶ谷公会堂2号会議室
会場C	瀬谷区民文化センター	会場M	アミューあつぎ市民交流プラザ
会場D	加瀬の会議室 鶴見駅前ホール	会場N	ウェルシティ市民プラザ
会場E	茅ヶ崎市地域医療センター	会場O	地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）
会場F	鶴見医師歯科医師会館	会場P	サトウ薬局初声営業所 2階研修室
会場G	横浜薬科大学B33教室	会場Q	川崎市医師会館
会場H	ビジョンセンター横浜西口	会場R	横浜市旭区民文化センター（サンハート）
会場I	湘南医療大学薬学部棟	会場S	相模原市総合保健医療センター
会場J	済生会神奈川県病院西館地下講堂	会場T	かながわ県民センター

No.	研修会名	開催日	会場	PS 領域	単位 数	受講者数
1	第18回川崎市薬剤師会症候学研修会	4月16日	B	3	1	30
2	鎌倉市薬剤師会研修会	4月17日	web	3	1	50
3	公衆衛生研修会（学校環境衛生編）	5月11日	A/web	3	1	37
4	瀬谷区薬剤師会研修会	5月14日	C	1	1	12
5	骨粗鬆症治療薬適正使用研修会（鶴見）	5月21日	D/web	2	1	38
6	セルフメディケーション研修会～総論編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	5月25日	A	3, 5	1.5	44
7	第7回薬剤師倫理研修会	6月1日	A	1（必須）	2	32
8	第19回川崎市薬剤師会症候学研修会	6月4日	B	3	1	37
9	災害時における薬局・薬剤師がやるべきこと、できること研 修会	6月29日	E/web	3	2	83
10	COVID-19の基礎と臨床（鶴見）	7月4日	web	2	1	32
11	保険調剤の正しい理解のための研修会	7月6日	web	5	1.5	112
12	瀬谷区薬剤師会研修会	7月9日	C	2	1	12
13	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）	8月3日	A	3	1.5	35
14	第8回薬剤師倫理研修会	8月24日	A	1（必須）	2	32
15	第20回川崎市薬剤師会症候学研修会 ～心不全～	8月26日	B	3	1	30
16	これからの薬局・薬剤師が目指すもの研修会	9月7日	A	1	1	71
17	認知症対応力向上研修会	9月23日	A	1, 3	2	74
18	鶴見区連携の会	9月30日	F/web	2	1	46
19	瀬谷区薬剤師会研修会	10月1日	web	2	1	31
20	薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会	10月5日	A	2	2	39
21	横浜薬科大学同窓会「浜薬会」開学20周年直前記念講演 会（感染症・地域活動）研修会	10月12日	G/H	3	1	17
22	海老名市薬剤師会学術研修会	10月16日	web	2	1	24
23	褥瘡治療薬サミットinかながわ2025	10月26日	A	2	2.5	32
24	神奈川県薬剤師会学術フォーラムin湘南医療大学	11月2日	I	—	3	205
25	第一回緑区薬剤師会学術研修会	11月4日	web	2	1	28
26	第21回川崎市薬剤師会症候学研修会	11月5日	B	3	1	32
27	薬剤師向け多文化対応力向上研修会	11月6日	web	3	1	45
28	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	11月6日	J/web	2	1	22
29	県下統一調剤事故防止研修会（港北）	11月11日	web	4	1	39
30	県下統一調剤事故防止研修会（海老名）	11月13日	K	4	1	31
31	県下統一調剤事故防止研修会（保土ヶ谷）	11月14日	L	4	1	26

No.	研修会名	開催日	会場	PS 領域	単位 数	受講者数
32	臨床漢方カウンセリング研修会2025「婦人科領域における漢方カウンセリングの実際」	11月15日	web	2	1	24
33	鶴見薬剤師会OTC研修会	11月15日	D/web	2	1	27
34	第9回薬剤師倫理研修会	11月16日	web	1(必須)	2	36
35	県下統一調剤事故防止研修会(小田原)	11月19日	web	4	1	115
36	済生会神奈川県病院 外来がん化学療法連携合同研修会	11月20日	web	2	1	17
37	県下統一調剤事故防止研修会(厚木)	11月27日	M	4	1	18
38	県下統一調剤事故防止研修会(伊勢原・秦野)	12月2日	web	4	1	53
39	県下統一調剤事故防止研修会(茅ヶ崎)	12月4日	E	4	1	48
40	薬局開設者・管理者が受けるべき研修会～倫理研修～	12月6日	web	1, 5	1.5	74
41	在宅医療研修会	12月7日	web	3	1	47
42	県下統一調剤事故防止研修会(横須賀)	12月9日	N	4	1	20
43	県下統一調剤事故防止研修会(栄・港南)	12月11日	O	4	1	25
44	県下統一調剤事故防止研修会(逗葉)	12月11日	web	4	1	33
45	県下統一調剤事故防止研修会(平塚中郡)	12月11日	web	4	1	62
46	県下統一調剤事故防止研修会(三浦)	12月12日	P	4	1	22
47	第二回緑区薬剤師会臨床学術研修会	12月12日	web	3	1	19
48	県下統一調剤事故防止研修会(鶴見)	12月16日	D/web	4	1	50
49	県下統一調剤事故防止研修会(瀬谷)	1月19日	C	4	1	28
50	鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会	1月22日	web	4	1	69
51	第22回川崎市薬剤師会症候学研修会	1月28日	Q	3	1	26
52	第3回研究倫理研修会	1月29日	web	1	1	43
53	公衆衛生研修会(食品添加物編)	2月1日	web	3	1	44
54	第3回多職種連携講演会(鶴見)	2月3日	F/web	2	1	41
55	県下統一調剤事故防止研修会(旭)	2月3日	R	4	1	23
56	薬薬連携のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー	2月5日	web	2	1	31
57	県下統一調剤事故防止研修会(相模原)	2月5日	S	4	1	41
58	第11回神奈川吸入療法ステップアップセミナー(初級編)	2月7日	web	2	1	13
59	セルフメディケーション研修会～各論編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	2月15日	A	3	1.5	47
60	第三回緑区薬剤師会学術研修会	2月17日	web	2	1	19
61	相模原市薬剤師会 アンチ・ドーピング研修会	2月20日	web	3	1	62
62	相模原市薬剤師会 一般用医薬品研修会	2月25日	web	3	1	57
63	瀬谷区薬剤師会研修会	2月26日	R	3	1	11
64	薬剤師も知ろう！フットケア ～例えば正しい爪切りを知っていますか？～	3月1日	A/web	3	1	38
65	横浜市鶴見区・鶴見薬剤師会合同研修会	3月4日	web	2	1	11
66	プレアボイド合同研修会	3月5日	web	4	1	55
67	かながわ心不全研修会(県病薬)	3月7日	T	22	2	43
合 計						2,770

(2) リスクマネジメント等事業

ア リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少を目的として、各地域のリスクマネジャーを招集し、情報交換等を行った。

① 第1回リスクマネジャー会議

日 時：令和7年7月23日（水）19：30～20：30

形 式：web 開催

内 容：偽造処方箋・多重受診の対応について情報交換

- ・偽造処方箋の事例

説明：白子順一氏（リスク対策小委員会小委員長）

- ・横浜市神奈川区、磯子区、港南区にて多重受診を行っていることが発覚した事例

説明：市川順子氏（横浜市神奈川区リスクマネジャー）

渡辺順子氏（横浜市磯子区リスクマネジャー）

大沼弘和氏（横浜市港南区リスクマネジャー）

白子順一氏（リスク対策小委員会小委員長）

- ・なりすまし受診の事例

説明：中村正樹氏（川崎市麻生区リスクマネジャー）

- ・保険者からの連絡で多重受診が判明した事例

説明：平原正代氏（茅ヶ崎寒川リスクマネジャー）

- ・薬の過剰摂取（オーバードーズ）のリスク啓発動画について

説明：白子順一氏（リスク対策小委員会小委員長）

② 第2回リスクマネジャー会議

日 時：令和7年9月4日（木）19：30～20：45

形 式：web 開催

内 容：・最近の薬物乱用問題を考える

座長 原和夫氏（リスクマネジメント委員会委員）

講師 舩田正彦氏（湘南医療大学薬学部 薬理学研究室 教授）

- ・薬局プレアボイド事例集第2版について

講師 古平圭吾氏（薬局プレアボイド小委員会小委員長）

- ・県下統一調剤事故防止研修会の開催について

講師 三堀賢太郎氏（リスクマネジメント委員会委員長）

- ・生涯学習認定制度について

講師 柿沼貞之氏（生涯学習委員会委員長）

イ 県下統一調剤事故防止研修会の開催

開催団体：地域薬剤師会

開催時期：令和7年11月～令和8年3月

内 容：・最近の薬物乱用問題を考える

- ・行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

ウ 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬剤師は薬物治療における患者の安全確保において重要な役割を担っている。薬局プレアボイド事業は、この重要な業務の「見える化」を図る有効な取組であるとの認識のもと、事例収集を実施し、優秀事例を会報誌（薬壺）で取り上げた。

〔第11回薬局プレアボイド報告キャンペーン〕

期 間：令和7年10月1日～10月31日

エ プレアボイド合同研修会の開催

日 時：令和8年3月5日（木）19：00～21：00

形 式：web開催

共 催：神奈川県病院薬剤師会

内 容：・2024年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演
・2024年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

オ 調剤事故防止検討会の開催

日 時：令和8年2月6日（金）18：00～19：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：実際の調剤事故事例解説～法的観点から～

カ プレアボイドweb報告システムの運用

薬局プレアボイド報告の簡略化および収集事例の分析・解析を目的として、Salesforceを活用したweb報告システムを構築し、令和3年4月より運用を開始している。

・報告件数：711件

キ プレアボイド報告の分析・評価

横浜薬科大学レギュラトリーサイエンス研究室と共同で、プレアボイド報告事例を分析・評価するための検討を開始した。プレアボイド報告システムweb化以降の2,500件を超える報告を分析し、「薬剤師業務の見える化」について評価を行い、次年度以降の学会発表および論文化を目指す。

(3) 広報事業

ア 広報推進事業

県民に対し、薬局および薬剤師の役割や機能を広く周知することを目的として、神奈川県薬剤師会のFacebookおよびInstagramにおいて定期的な情報発信を行った〔表8〕。

また、令和7年12月から、新たにX（エックス）にて「神奈薬ほう介」が、くすりと健康、薬局、地域のイベントを“てくてく散歩”しながら紹介する「ほう介のてくてく散歩」の運用を開始した。〔表9〕



ゆるバースエントリー画像

さらに、神奈川県薬剤師会のキャラクターマーケティング推進の一環として、「神奈薬ほう介」を「ゆるバース 2025」にエントリーした（詳細はゆるキャラグランプリ公式サイト参照）。

また、神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学、第 75 回全国学校薬剤師大会にて「神奈薬ほう介」とともに本会の P R 活動を実施した。

① 神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学（P16 参照）

日 時：令和 7 年 11 月 2 日（日）10：00～16：00

場 所：湘南医療大学薬学部棟

② 第 75 回全国学校薬剤師大会（P24 参照）

日 時：令和 7 年 11 月 20 日（木）16：00～19：30（神奈薬ほう介対応時間）

場 所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

〔表8〕 令和7年度 Facebook・Instagram 投稿結果〔令和8年3月31日現在〕

投稿日	投稿内容	区分	投稿者	Facebook	Instagram
4/1	知っていますか？薬の期限について	県薬	広報委員会	○	○
4/4	薬の過剰摂取（オーバードーズ）のリスク	県薬	リスクマネジメント委員会	○	○
4/4	実例から学ぶ臨床薬学アセスメント	県薬	リスクマネジメント委員会	○	○
4/17	薬の保管方法	県薬	広報委員会	○	○
4/23	貼る薬の解説	県薬	広報委員会	○	○
5/13	神奈川県薬剤師会倫理研修会が開催されます	県薬	倫理研修委員会	○	○
5/23	環境衛生検査の完全実施について	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
6/2	神奈薬ほう介出演イベント情報	県薬	広報委員会	○	○
6/6	セルフメディケーション研修会～総論編～かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
6/9	薬剤師が勧める夏バテ予防の飲み物	県薬	広報委員会	○	○
6/20	神奈薬ほう介登場!! 寒川食育ひろば2025に参加しました!	県薬	広報委員会	○	○
6/26	毒からできた薬?	県薬	広報委員会	○	○
7/4	次世代を担う体制	県薬	広報委員会	○	○
7/22	もしもの時に役立つ話～突発性難聴～	県薬	広報委員会	○	○
8/18	「神奈薬ほう介」ゆるバース2025出場! 応援よろしくお願ひします!	県薬	広報委員会	○	○
8/20	夏場の薬の保管方法	県薬	広報委員会	○	○
8/26	今年もやりました! 健康サポート薬局研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
8/26	公衆衛生研修会 学校環境衛生検査技術編	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
8/26	【開催予告】2025年度 認知症対応力向上研修会を開催します!!	県薬	地域保健委員会	○	○
8/29	神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学	県薬	広報委員会	○	○
9/1	「令和7年度ルーキーメンバー交流会」開催しました	県薬	組織会員委員会	○	○
9/9	第8回神奈川県薬剤師会薬剤師倫理研修会	県薬	倫理研修委員会	○	○
9/11	神奈川県薬剤師会学術フォーラムin湘南医療大学 市民公開講座ご案内	県薬	広報委員会	○	○
10/8	薬剤師会×献血推進 in 武蔵小杉	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
10/9	学術フォーラムin湘南医療大学 会員向けのご案内	県薬	広報委員会	○	○
10/14	認知症の前段階“MCI”を学ぶ～薬剤師会研修会レポート～	県薬	地域保健委員会	○	○
10/16	神奈薬ほう介 献血活動in秦野に登場	県薬	広報委員会	○	○
10/19	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと14日!」	県薬	広報委員会	○	○
10/20	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと13日!」【会場案内】	県薬	広報委員会	○	○
10/21	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと12日!」【プログラム案内】	県薬	広報委員会	○	○
10/22	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと11日!」【市民公開講座案内】	県薬	広報委員会	○	○
10/23	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと10日!」【分科会I案内】	県薬	広報委員会	○	○
10/24	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと9日!」【分科会II案内】	県薬	広報委員会	○	○
10/24	薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
10/25	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと8日!」【シンポジウム案内】	県薬	広報委員会	○	○
10/26	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと7日!」【昨年の学術フォーラムの様子】	県薬	広報委員会	○	○
10/27	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと6日!」【ブース、口頭発表、ポスター発表紹介】	県薬	広報委員会	○	○
10/28	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと5日!」【こんな方におすすめ】	県薬	広報委員会	○	○
10/28	知っておきたい くすりの知識 注射型との違いは? 点鼻型インフルエンザワクチン	県薬	広報委員会	○	○
10/29	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと4日!」【参加準備チェックリスト】	県薬	広報委員会	○	○
10/30	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと3日!」【当日参加登録について】	県薬	広報委員会	○	○
10/31	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと2日!」【学術フォーラムの実行委員会委員長より】	県薬	広報委員会	○	○
11/1	学術フォーラム カウントダウン「\開催まであと1日!」【いよいよ明日開催】	県薬	広報委員会	○	○
11/12	神奈川県薬剤師会学術フォーラム 広報委員会活動	県薬	広報委員会	○	○
11/18	みんなの学校にもいる学校薬剤師ってナニ?	県薬	広報委員会	○	○
12/9	褥瘡治療薬サミット in かながわ 2025	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
12/10	今日からXスタート!	県薬	広報委員会	○	○
12/10	神奈川県災害薬事コーディネーター養成研修会	県薬	災害検討委員会	○	○
12/23	年末年始に慌てない為の「お薬の備え」	県薬	広報委員会	○	○
12/30	年末のご挨拶	県薬	広報委員会	○	○
1/1	年始のご挨拶	県薬	広報委員会	○	○
1/15	健康サポート薬局研修会!	県薬	地域保健委員会	○	○
1/20	薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/6	薬物乱用防止教室! 薬剤師だからこそ話せる事	県薬	広報委員会	○	○
2/24	公衆衛生研修会 (食品添加物編)	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/27	セルフメディケーション研修会～各論編～かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
3/9	相模原市薬剤師会×神奈川県薬剤師会×献血推進 in 相模大野	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
3/10	日韓学術交流会	県薬	広報委員会	○	○
3/25	花粉症のピーク	県薬	広報委員会	○	○
3/27	アスピリンの木	県薬	広報委員会	○	○
3/31	カフェイン摂取で、交通事故リスクの低下??	県薬	広報委員会	○	○

県薬：61件//地域：0件

61

61

[表 9] 令和 7 年度 X (エックス) 投稿結果

[令和 8 年 3 月 31 日現在]

投稿日	投稿内容	画像	動画	メルマガ	投稿数
2025/12/10	自己紹介			○	4
2025/12/16	みなとみらい夜景	○			
2025/12/23	クリスマス	○			
2025/12/30	年末 (こたつとお餅)	○(AI)			
2026/1/1	年始 (こたつとみかん)	○(AI)			5
2026/1/5	くすりと健康相談薬局訪問	○			
2026/1/11	鏡開きとほう介	○			
2026/1/19	てくてく散歩の事始め	○			
2026/1/26	献血のお願い	○			6
2026/2/2	シールとほう介	○			
2026/2/9	のど自慢	○			
2026/2/12	シールとほう介 第2弾	○			
2026/2/16	江の島	○			
2026/2/21	薬剤師国家試験	○			
2026/2/28	三浦海岸桜まつり	○			6
2026/3/10	インフルエンザ		○ (URL)		
2026/3/13	花粉症	○			
2026/3/16	防災スマイリングフェア2026		○		
2026/3/23	あーすぶらざ①	○			
2026/3/23	あーすぶらざ②	○			
2026/3/25	薬剤師国家試験合格発表				
		17	2	1	21

イ 会誌「薬壺」発行事業

薬剤師の学術的資質の向上を図るとともに、薬学・薬業の進歩発展に寄与することを目的として、会誌「薬壺」を発行した。本誌では、薬学・医学領域に関する情報や医薬品に関する情報、神奈川県内の動向、薬業界の話題などを幅広く掲載した。

発行：3回(隔月奇数月)各4,150部

配送先：会員、各都道府県薬剤師会、保健所、薬科大学、新聞社他

掲載内容等：

発行 月号	頁 数	薬壺編集委員会企画記事
5・6	60	① 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ(第16回) ② 暮らしに役立つ楽しい化学!(第17回) ③ メッセージをいただき、ありがとうございます!
7・8	56	① 一般社団法人上田薬剤師会「第11回薬剤レビュー・ワークショップ」参加報告 ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ(第17回) ③ 暮らしに役立つ楽しい化学!(第18回)
9・10	58	① 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ(第18回) ② 暮らしに役立つ楽しい化学!(第19回)

発行 月号	頁 数	薬壺編集委員会企画記事
11・12	50	①暮らしに役立つ楽しい化学！（第20回）
1・2	56	①医療DXについて（その1）-なぜ医療が必要なのか 情報共有の重要性について- ②暮らしに役立つ楽しい化学！（第21回）
3・4	56	①神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学 報告 ②神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学 優秀賞紹介 ③医療DXについて（その2）-医療DXに備えるためにすべきこと- ④暮らしに役立つ楽しい化学！（第22回）

取材活動・掲載：

① 地域薬剤師会

他地域にも広めたい活動や、地域の強みなど、地域薬剤師会の特色ある取り組みについて取材を行うにあたり、取材先の検討を行った。

② 神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学

日 時：令和7年11月2日（日）

〈大会報告、優秀賞紹介：3・4月号掲載〉

③ 読者アンケートの実施

誌面作りに読者の意見を反映するため、読者アンケートを実施している。

ウ ホームページ運営事業

ホームページの円滑な運用および新規システム導入の検討等を目的として、委託業者との定期的なミーティングを実施した。

また、会員によるホームページの利便性向上を図るため、「ホームページ 知って得する活用術」コーナーにおいて、便利な機能の紹介を行った。これらの情報は、メールマガジンでも周知した。[図24]

- ・第5弾（2025年5月13日配信） 研修会案内
- ・第6弾（2025年6月17日配信） 「求人情報コーナー」リニューアル！
- ・第7弾（2025年9月26日配信） ホームページ内検索のポイント

また、本会の求人情報コーナーを活発化させるため、「会員薬局求人情報」に掲載された求人情報を「Googleしごと検索」に連動させ、より多くの求職者の目に留まりやすくなるようシステム改修をおこなった。[図25]



図24:神奈川県薬剤師会 ホームページ会員用
ホームページ知って得する活用術画像



図 25:Google 求人検索ページ画像

エ メールマガジン発信事業

薬剤師資格証関連や行政からの通知事項など、合計 63 件の情報を登録者数 2,837 名へメールマガジンとして発信した。主な配信内容は次のとおり：

- ・ 4 月 17 日号 医薬品適正使用啓発動画（オーバードーズ編）とプレアボイド事例集（第 2 版）のご案内
- ・ 7 月 9 日号【神奈川県】令和 7 年度「電子処方箋管理サービス」のシステム導入費用補助の実施（申請受付開始）について
- ・ 7 月 14 日号「災害医療・薬事対応に関する研修プログラム」_令和 7 年度受講用をオンデマンド配信します
- ・ 7 月 25 日号_学術フォーラムホームページ公開
- ・ 11 月 4 日号_緊急避妊薬を販売する薬局・店舗販売業の店舗における近隣の産婦人科医等との連携体制の構築について（緊急避妊薬販売薬局等名簿への登録申請のお願い）
- ・ 2 月 18 日号_【県通知】「医療機関等物価高騰対応支援金」及び「診療所等賃上・物価支援金」の第 1 回申請受付について

（4）会員に向けた各種支援

ア 会員への各種支援事業

- ・ 神奈川県薬剤師会の会員拡大と会員相互の交流促進を目的として、同好会設立に向けた協議を実施し、令和 8 年度からの運用開始に向けて規程案等の作成をおこなった。

イ 会員向け書類

- ・ 薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇物登録、高度管理医療機器販売業等の更新に関する各種書類を会員に送付し、手続き方法について案内を行った。
（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月、237 店舗・344 件）

ウ 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及

- ・ 日本薬剤師賠償責任保険（個人情報漏えい保険含む）およびアンチ・ドーピング活動保険の加入希望者に対し、パンフレットを送付した。
- ・ 薬剤師賠償責任保険の加入手続きに際し、日本薬剤師会からの会員登録確認依頼に対応した。

IV 収益事業

1 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業

横浜市薬剤師会他 9 団体（4 階）、太平環境科学センター（旧ヴェオリア・ジェネッツ株式会社）（5 階）、株式会社矢野建築設計事務所（3 階）、社会福祉法人同愛会（1 階）に対し、引き続き事務室の賃貸を行った。

タワーパーキングについては、令和 7 年 4 月より満車（16 台）となった。

会議室の利用状況は、4 月から令和 8 年 3 月までの合計 770 件であった。内部会議室の利用は、委員会等が Web 会議で実施された影響により、前年度実績を下回った。

ア 外部会議室利用状況 388 件（前年対比 87.8%）

イ 内部会議室利用状況 382 件（前年対比 95.5%）

(2) 書籍等販売事業

薬事関係図書の斡旋販売および用紙等の販売を行った。

ア 薬事関係図書の斡旋販売：33 件（586 冊）斡旋販売手数料 149,230 円

イ 用紙等販売：162 件 549,930 円

(3) 神奈川県総合薬事保健センター大規模修繕について

ア 発注関係

- ・令和 6 年 8 月より、第二期工事に向けた打合せを開始した。
- ・令和 6 年 12 月には、第二期工事費削減を目的として空調機器の先行発注を行った。
- ・令和 7 年 3 月 14 日から第二期工事（4 階）を開始し、3 月末に空調機器が納品された。

イ 第二期工事概要

- ・令和 7 年 3 月 14 日～6 月末（7 月 9 日引渡し完了）
- ・工事対象：4 階
- ・工事内容：
 - ・天井解体
 - ・既存空調設備の撤去
 - ・新規空調設備の設置

ウ 発注関係（第三期工事）

- ・令和 7 年 8 月より、第三期工事に向けた打合せ開始した。
- ・令和 8 年 3 月、第三期工事発注を行った。
- ・令和 8 年 3 月 14 日から第三期工事（2 階）を開始した。

エ 第三期工事概要

- ・令和 8 年 3 月 14 日～6 月末（7 月初旬完了予定）
- ・工事対象：2 階
- ・工事内容：
 - ・天井解体
 - ・既存空調設備の撤去
 - ・新規空調設備の設置

その他

1 地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業

日本薬剤師会からの依頼を受け、一般社団法人日本医療薬学会が実施する「地域薬学ケア専門薬剤師認定制度」に関し、研修希望者と研修先（基幹施設：病院）とのマッチング業務を受託し、実施した〔表 9〕。

（１）地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会の設置

- ア 委 員 橋本真也、小林弘忠、小松敏彰
イ 開催方法 書面会議

（２）令和 7 年度マッチング結果

〔表 9〕

項目	人数等	内 訳	
		地域薬学ケア専門薬剤師	同 副領域：がん
1. 申請者	1 名	1 名	0 名
2. 受入状況	1 施設 2 名	1 施設 2 名	0 施設 0 名
3. マッチング成立者	1 名	1 名	0 名
4. マッチング不成立者	0 名	0 名	0 名

2 緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業

日本薬剤師会が厚生労働省から委託を受けた「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」に、川崎市薬剤師会および藤沢市薬剤師会、横浜市薬剤師会の協力のもと参加し、調査研究事業に協力した。

（１）日本薬剤師会「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」への協力

調査研究事業参加薬局

川崎市内 5 薬局、藤沢市内 5 薬局、横浜市内 4 薬局

令和7年度 公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

わが国の高齢化は年々進行しています。中でも令和7年（2025年）は、昭和22年～24年（1947～49年）生まれのいわゆる団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる年として以前から注目されてきました。

総務省の統計によれば、令和6年6月の時点ですでに全国民に占める後期高齢者の割合は16.6%、65歳以上の人口比に至っては29.2%に達しており、まさに「10人に3人が高齢者」という社会が現実のものとなっています。

一方で、近年のデジタル化の進展・技術進歩は目覚ましく、AI、メタバース等のデジタルテクノロジーは国民にとって急速に身近なものになりつつあります。

また、総務省の調査によれば令和5年（2023年）時点で個人でのスマートフォン保有割合は78.9%に達しており、その普及により国民の日常生活における利便性は大幅に向上しています。

こうした社会状況を背景に、国では医薬分野における様々な制度改正、規制改革の準備が進められており、次回の薬機法改正に向けて薬局機能や医薬品販売方法の見直しなどが検討されています。

神奈川県薬剤師会は、このような国の動向を注視しつつ、我々を取り巻く環境の変化に柔軟に対応していかなければなりません。

薬剤師・薬局が将来にわたって地域医療の一翼を担い、県行政等と連携しながら県民の健康増進、福祉、保健衛生の向上に寄与し続けることができるよう、本会には、限られた財源を有効に活用して真に必要な事業を進めること、無駄を省くこと、新たな会員獲得の努力を行うことなどを通じて今後も基礎体力を維持していくことが求められています。

そのためには、従来型の発想や手法にとらわれず、目標を的確に把握し、積極的にチャレンジしていく必要があります。

令和7年度（2025年度）は、こうした基本姿勢のもとで、引き続き本会の2大事業である「くすりと健康相談薬局制度」と「生涯学習認定制度」の着実な推進を図るとともに、将来を見据えた諸事業を展開します。

また、大規模地震や豪雨・暴風等の災害が近年多発していることから、行政と連携しながら本格的に災害対策に取り組めます。

具体的には、次に掲げる取組を重点的に推進していくこととします。

- 1 若手会員の確保及び本会活動の活性化を図るため、薬学部4年生～卒後3年目までの薬剤師を対象としたルーキーメンバー制度を本格実施し、将来本会の中核を担うことが期待される若手人材の確保に努めます。

また、会員メリットのアピール等を通じて、引き続き新規会員の確保・定着に努めます。

- 2 令和6年度に初めて薬科大学と共催した「かながわ薬剤師学術フォーラム」の成果を踏

まえ、引き続き活気のある学術大会が開催できるよう検討を進めます。

- 3 「くすりと健康相談薬局」については、地域薬剤師会の協力を得ながら認定数の拡大を図り、当初設定した目標 500 薬局のうち、令和 7 年度は、既に認定を受けている 265 薬局に加えて、県内 32 エリアで少なくとも 1 薬局の新規認定を達成することを目指します。
- 4 薬剤師の質の向上を図るため「生涯学習認定制度」を引き続き推進し、研修の充実・拡大を図るとともに認定者をアピールし、また幅広く研修受講を促すことで認定薬剤師数の増を目指します。
- 5 神奈川県等と共催で薬物乱用防止の街頭キャンペーンを実施するとともに、学校薬剤師が中心となって県下の児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教室を開催し、薬物乱用の撲滅を図るための啓発事業等を積極的に行います。
また、令和 7 年度に神奈川県が当番幹事県となる「第 75 回全国学校薬剤師大会」を成功させるよう取組を進めます。
- 6 委員会活動等を通じてエビデンスに基づく学術研究を推進し、薬剤師の研究能力の向上を図るとともに、地域社会が直面する保健・医療・福祉等の課題解決に結びつく具体的研究成果を示すことで、県民、行政、関連団体に対して薬剤師のプレゼンスを高めます。
- 7 県下一斉相談週間、くすりと健康すこやかフェア等、県下の薬剤師・薬局が参加可能な県民の健康増進及び福祉の向上に資する施策を、関係団体とも協力しながら展開します。
- 8 リスクマネジメントの取組を進め、プレアボイド報告の分析・評価を引き続き行うとともに、これまでに報告された多数の事例の共有化を図ります。
また、他県薬に先駆けて本会が具体の取組を進めている多重受診対策についても引き続き強化を図ります。
- 9 地震・豪雨等の大規模災害が発生した際、行政が設置する災害対策本部等に参集する「災害薬事コーディネーター」を養成するため、薬剤師の災害時における対応能力向上を図る研修を県と連携して実施します。
- 10 本会の財務基盤の中長期的な安定強化を図るため、研修会の参加費等について適正な水準を検討するとともに、大規模・単発の研修会の開催方法、受講者募集方法等について効率化を進めます。
- 11 本会の活動基盤である神奈川県総合薬事保健センターの長寿命化を図るため、引き続き空調設備更新を中心とした大規模修繕工事を実施します。

令和7年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

I 公益事業

I-1

薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業
6. 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

I-2

児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

I-3

医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすりと健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

I-4

医療安全に関する
事業

1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 【休止】薬害関連資料収集検討

I-5

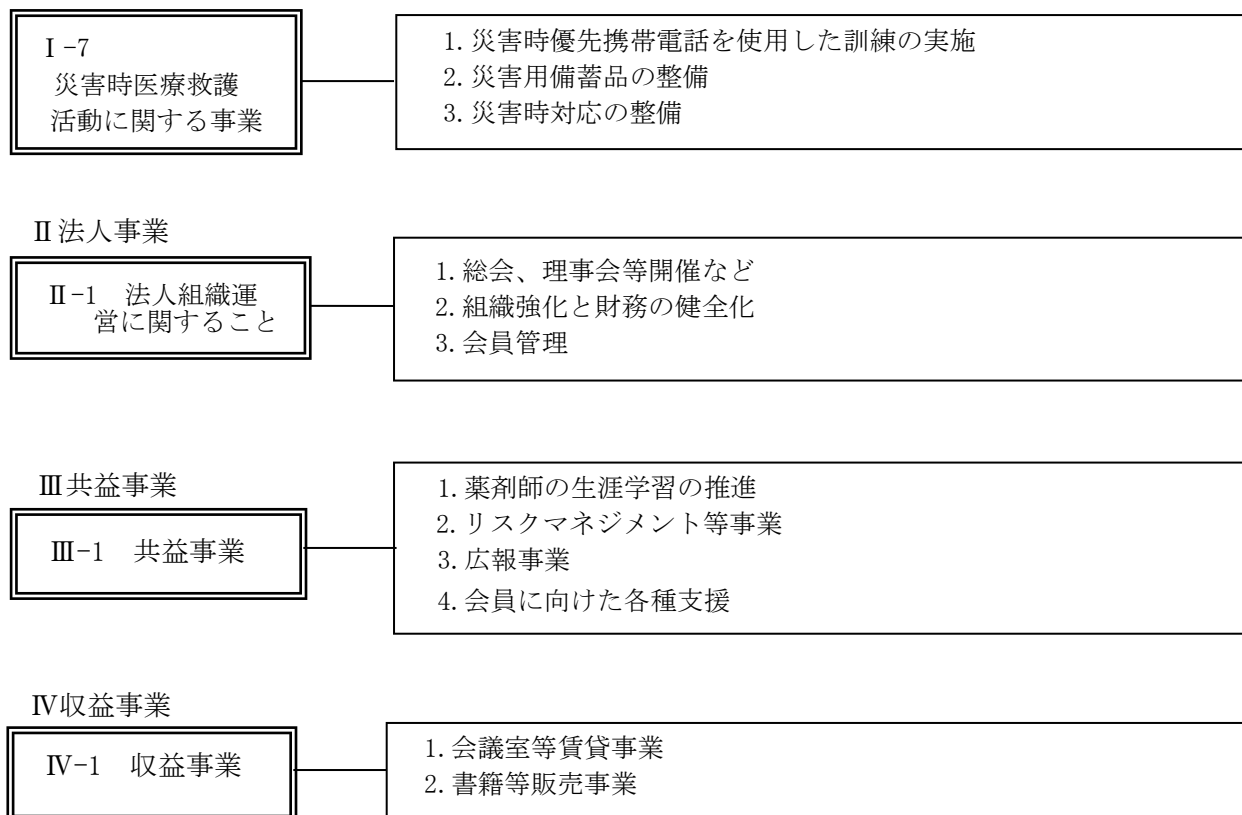
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生向上事業
4. かながわ健康財団等事業への参画

I-6

地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート機能向上に関する事業の推進



神奈川県薬剤師会 各種委員会等 役員・委員名簿

(敬称略・工リ順)

委員会等名称	副会長	専務・常務理事	理事	委 員	担当課
組織会員委員会	大島 崇弘	平井 和友 加藤 真介 福嶋 仁 藤本 直樹	坂本 悟 加藤 真介 八畝 広幸 石井 泰彦	荒澤 実 ◎市川 浩 福岡 真 菅野 宏一 馬瀬 大介 ○金林 茂	管理課
広報委員会	橋本 真也	平井 和友 堀川 壽代	伊藤 啓 大岡 元 石井 泰彦 中里 裕之 関水 康成	鈴木 伸悟 枝村 優哉○服部垂矢子 小関 雄介 持田 雄也 ◎澤田 寛之 吉川 幸介 奈良 健	管理課
薬壺編集委員会	橋本 真也	平井 和友 堀川 壽代	坂本 悟 伊藤 啓 村上 和宣	中尾 圭佐 小関 雄介 斯波 晃介◎小林奈津子 菅野 浩 ○田村 理 関根 澄江 殿岡(窪田) 恵子 福井 順也	管理課
生涯学習委員会	久保田充明	夏目 善文 福嶋 仁	大岡 元 亀山 俊 河野 一規	三澤 喜彦 佐々木優貴○友田 健 浅川純子 金子 幸代 ◎柿沼 貞之 楠 欣己 小泉 直也 杉崎 薫 西 良介 吉山 友二 山村 重雄 熊谷圭二郎	事業課
医療・介護保険委員会	佐藤 克哉	夏目 善文 福嶋 仁 藤本 直樹	石井 泰彦 亀山 俊 河野 一規	○渡辺 美穂 阿部 隆介 横山 寛 村山 慶矩 ◎今井 良紀 ○三浦 健太 露木 聡史 小川明男 藤田 茂起 芦塚拓也	事業課
公衆衛生・学業委員会	大島 崇弘	平井 和友 藤本 直樹 堀川 壽代	八畝 広幸 中里 裕之 関水 康成	永田 浩美 濱地 優作 池田 一枝 芝坂 洋子◎和田 野歩 水野 秀典 青木 紀恵 森田 育子 白井 賢治○今村 裕樹 小林 弘軌○大澤佳奈子 篠田真由美 滝澤 聖一 藤原正一郎 小出 彰宏	事業課
地域保健委員会	大島 崇弘	夏目 善文 堀川 壽代	八畝 広幸 村上 和宣 河野 一規 中里 裕之	三上 大介◎林 直子 松島 大輔 市川 眺美 澤田 弘之 門垣 雪江 中村 光子○市川 和子 稲葉健二郎 尾形真美子	事業課
リスクマネジメント委員会	佐藤 克哉	竹内 尚子 藤本 直樹	伊藤 啓 石井 泰彦 村上 和宣 岩井 俊秀	市川 順子 白子 順一 古平 圭吾 松本 聡志 大貫 ミチ ○篠田 豪 新田 淳史 加藤 大雅 小川 亮子◎三堀賢太郎 高橋 照明 原 和夫	事業課
倫理研修委員会	橋本 真也	竹内 尚子 藤本 直樹	八畝 広幸 定村 洋士 関水 康成	◎斉藤 美月 武田亜希子○安藤 典幸 山崎 勇輝 高村 優子 飛田始喜恵 小橋 紀子	事業課
学術大会実行委員会	久保田充明	竹内 尚子 福嶋 仁	加藤 真介 中里 裕之	野村 清司 深田 哲也◎中村 正樹○今村 裕樹	事業課
実務実習委員会	久保田充明	竹内 尚子 夏目 善文	加藤 真介 定村 洋士 岩井 俊秀	○須田 哲史 加藤 孝平 山崎 瑞恵 高橋 健子 河野 和宏 藤倉 絵美 及川 肇美○寺杣 智子◎片山 周也 上田 知弘 駒井 元彦 廣原 正宜 日下部吉男 難波 昭雄 婦川 貴博 鳥越 一宏	事業課
災害対策検討委員会	橋本 真也	平井 和友 福嶋 仁	坂本 悟 大岡 元 石井 泰彦 定村 洋士 岩井 俊秀	◎日向 彰 渡辺 一冲○橋本 学 神原 大輔 露木 聡史 田所 貴美 渡邊 千括○田村英樹	事業課
医薬品適正使用検討委員会	佐藤 克哉	-	亀山 俊 河野 一規	-	事業課
くすりと健康相談薬局制度運営協議会	全副会長	専務理事 全常務理事	-	益山 光一 今井 澄江 篠塚 達雄	事業課
代議員選挙管理委員会	-	平井 和友	岩井 俊秀	◎木村久美子 鈴木 康久○越田 良仁 山田 修 岡野 克樹 中村 康之 小林さぬ子 三芳 太郎 伊藤 一 渡邊 浩一 狭間 純	管理課
総会議事運営委員会	佐藤 克哉	平井 和友	八畝 広幸	松島 大輔 ○松原 幸三 渡辺 一冲 竹本 裕治 ◎澤田 弘之 岩野 明 大久保敦子 高橋 善彦 柏木 紀久 石井 豊 細野 正人	管理課
役員選挙管理委員会	-	平井 和友	岩井 俊秀	石川 弓子 鈴木 康久 星野 高志 山田 修 ◎岡野 克樹 中村 康之 小林さぬ子 大島 正 原 延正 ○渡邊 浩一 植村 智子	管理課
(仮称)経営状況検討会議WG	佐藤 克哉	平井 和友	-	-	事業課 管理課
新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG	久保田充明	-	-	玉田慎二 秋葉保次	事業課 管理課
倫理審査会	橋本 真也	竹内 尚子	-	◎上村 直樹 大澤 正俊 小野 仁司 林 直子 宮澤 正幸 今井 澄江 宮坂 久美子	事業課

令和7年度神奈川県薬剤師会組織図

